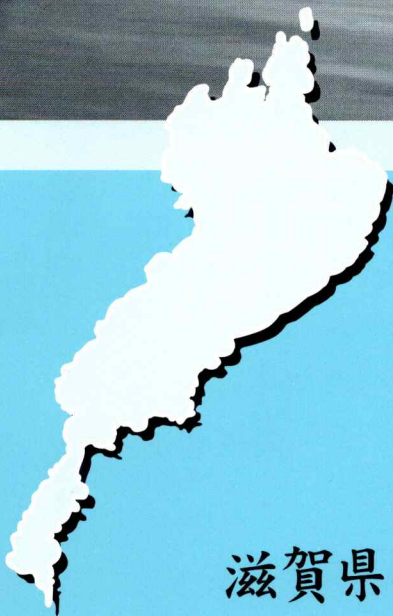
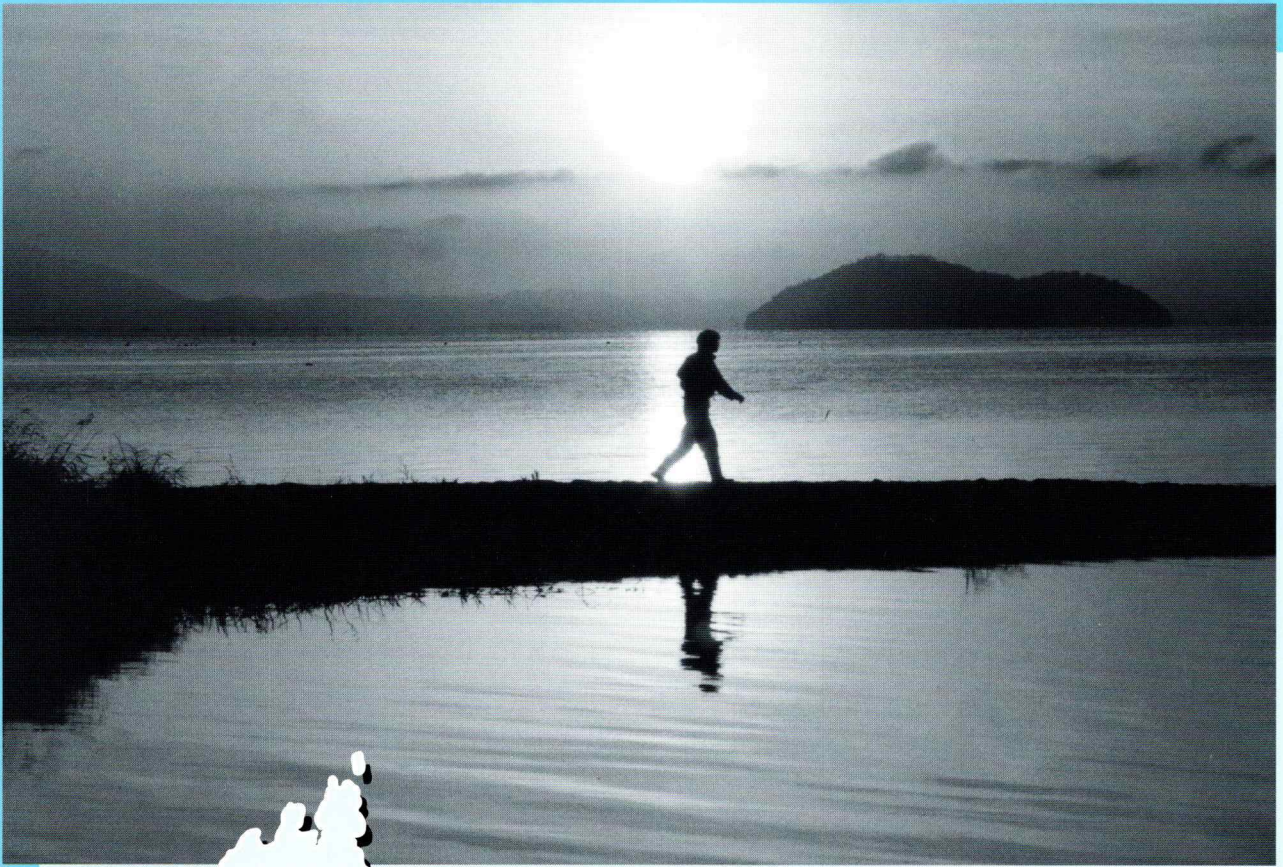
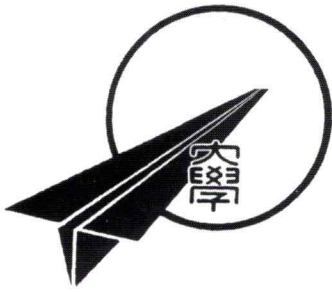


會 報

第 29 号



滋賀県レイカディア大学同窓会



滋賀県レイカディア大学校歌

レイカディア讃歌

(高城 修三 作詞)

- 一、近江の最中 青き海
ささなみ寄せる軽き音
いつまでも尽きることなき
その思い ともに学ばん
さわやかに レイカディア
レイカディア
わがレイカディア
- 二、青垣つらね 鈴鹿比良
峰にたわむる白鳥の
いつまでも果つることなき
歓びを ともに遊ばん
うるわしく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア
- 三、淡海映す蒼き空
宇宙が見せる深き貌
いつまでも消ゆることなき
その真実 ともに生きなん
かぎりなく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア

滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成六年七月十一日改定

滋賀県レイカディア大学同窓会

●●●●● 祝 辞 ●●●●● (平成24年度定期総会メッセージ) ●●●●●

同窓会本部定期総会が開催されるに当たり、一言お祝い申し上げます。最初にレイカディア大学を卒業された皆さま方には、これまで培って来られた豊かな知識と経験を活かし、それぞれの地域の担い手として活動いただいていることに対しまして、心より感謝申し上げます。

さて、滋賀県ではレイカディア滋賀プランに基づき、全ての県民のみなさんが自らを「人生の主演」と感じていただける健康長寿社会の構築に向けて高齢者が自立して暮らせるまちづくり、高齢者の生き甲斐・健康づくりや社会への参画促進に取り組んでいます。こうした中、30年を超える歴史を持つレイカディア大学からは、平成23年9月までの累計で4,900人の方が卒業されております。

平成19年から3年間の卒業生を対象とした調査によりますと、卒業後約96%の方がボランティア活動などの地域活動を行って頂いており、意欲に満ちた高齢生活を過ごされている調査結果が出ています。又、ご活躍されている分野は、趣味のサークル団体・福祉・自治会など様々で、仲間同士のつながりや、世代を超えた指導的立場で、地域で活動頂いており、大変心強く感じているところでございます。本日ご参集のレイ大同窓生は生涯スポーツの活動を通じた仲間づくり、健康づくり、並びに地域づくりの実践者であり、後に続く世代の方にとって範となるよき先輩としていつまでもご活躍頂きたいと願っております。県と致しましても、高齢社会の中で、人々が相互に支え合い、生き甲斐をもって地域社会への貢献活動等に取り組みながら健やかな生涯を過ごして頂けるよう支援して参ります。

結びに、皆さまのご健勝とレイカディア大学同窓会が今後も毎年新しい仲間を迎えられる中で、益々発展されることをお祈り申し上げて、私からのお祝いの言葉といたします。

平成24年 5月17日

滋賀県知事 嘉田 由紀子

目 次

同窓会長所感

滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 戸之洞 貞夫	2
『會報』29号発刊によせて 学長 嶋川 尚	3
24年度 本部のあゆみ	4
24年度 各支部の活動	7
功労者表彰・受賞の喜び	16
長寿慶祝受賞者の感想文	19
24年度 各支部の特ダネ情報	26
24年度 新入会員の紹介	30
24年度 本部役員の紹介	32
組織活性化対策のアンケート調査集計	33
物故者を悼む	49
編集後記	50



同窓会組織の活性化に、 熱い思いを込めて！

レイカディア大学同窓会 会長 戸之洞 貞夫

寒気もことのほか厳しい折から、会員の皆様方には益々ご壮健にて、地域活動にご尽力のこととお慶び申し上げます。

日頃は、レイカディア大学同窓会の諸事業に対し、積極的なご参加、ご協力を賜り厚く御礼を申しあげます。

早速ではありますが、お待ちかねの會報「第29号」を皆様方のお手元にお届けすることが出来ました。例年は、新しい希望の年明けとともに、墨の香も芳しい會報を上梓致しておりましたが、ご承知の通り、平成24年度は同窓会の一大事業計画として、昨秋に、「同窓会活動に関するアンケート調査」を全会員の皆様方をお願い申しあげましたが、その結果や集約内容について、本号にてお知らせする手筈を整えて参った関係で、今年度は編集、発刊の時期が遅れてしまいました。

同窓会事業の活性化対策の必要性については、既に書簡を持ってお願いを致したところですが、昨年秋に同窓会へ入会して頂いた33期生175名の新会員の方々を含め、1,800余名の全会員様に「アンケート調査」の依頼を致しました処、1,187名の方々が応じて頂き、回収率も66.8%という予期せぬ数値で一定の成果を上げる事が出来ました。これ偏に皆様方の同窓会に寄せる熱い思いの証左であり、真摯にお取組みいただいた事に対し、深甚なる敬意を表し、感謝の念を申し上げる次第で御座います。

レイ大同窓会は、その他の同窓会と言われる？集団とは趣向が若干異なっていると考えます。何故ならば、私たちは高齢でありながらも建学の精神を理念として、地域でのよきリーダー、地域の活性化を図るその担い手として、熱い使命感に燃えて活動する集団であります。地域性は課せられない同窓会、親睦を旨とする同窓会とは根本的に違うのだと、自負致しております。これは決して過言ではありません。

レイ大同窓会には、30年という年月の歴史や伝統がありますが、現実に課せられた課題や問題点は多く包含致しております。が、然し、今回の調査を通じて感じ取れることは、やはり同窓会に寄せる熱い思いや、期待・関心が非常に高いということが伺えました。組織の在り方や活性化の方向性について、建設的なご提言や貴重なご意見を承ることができ、本当に有難うございました。紙上をお借りし厚く御礼を申し上げます。今回頂きました皆様方の思いや行動は、新しい年度の事業活動計画に盛り込み、方向性を見定めながら推進に結び着けるよう努力する思いです。

色々盛り沢山のデータや提言・意見の数々を會報に全部掲載するのが本意ではありませんが、諸般の事情等ではかなわぬ事を深くお詫び申し上げ、会員皆様方の益々の御健勝と、同窓会のご発展を祈念しご挨拶に代えさせていただきます。



新たな展開を求めて

滋賀県レイカディア大学 学長 嶋川 尚

滋賀県レイカディア大学同窓会會報第29号の発刊にあたり、一言あいさつを申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にて日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。また日頃より本校の運営につきましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年9月に発表されました我が国における高齢者の人口推計によりますと、65歳以上の高齢者は3,000万人を突破し、高齢化率は過去最高の24.1%に達しました。この少子高齢化がすすむ今日、高齢者の先頭に立って精力的に地域づくりに専心努力され、また地域活動事例発表会の開催や会員意識調査の実施など、同窓会活動の更なる活性化に取りくまれておられる皆様のお姿に深く敬意を表する次第です。

このように、同窓会の皆様が新たな展開を求めて果敢に挑戦されるのと同様に、本学におきましても時代の要請に応えられる学びの場づくり、高齢者のニーズを促えた魅力ある大学づくりをめざしたいと考えます。

その一つとして、今年度は「レイ大見直し検討会」の提案を踏まえ、高齢者の関心が高い「びわこ環境学科」「北近江文化学科」「健康づくり学科」の3学科を新たに開設いたしました。お蔭をもちまして、昨秋の第35期学生募集は、この新設3学科を含めほぼ定員に達することができました。これらの新設学科が今後、既存の学科とともに高齢者の皆様に共に学びの楽しさや喜びをもたらすことを願っております。この他にも、入学希望者がより出願しやすいよう出願時の作文の廃止、願書の本学直接受け付け、本学での学びの楽しさ、面白さが伝わるよう募集要項のリニューアルなど、見直しを行いました。今後も引き続き必要な見直しを重ね、より一層魅力あふれる大学をめざして全力を尽くし邁進する所存であります。

同窓会の皆様には、時代の変化やニーズに向き合って歩む本学について、ご理解いただくとともに大所高所から貴重なご意見やご提言を賜り、今後とも本学運営のために、ご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会の今後のますますのご発展と会員の皆様のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、発刊に寄せてのあいさつといたします。

..... お 祝 い (平成24年度 定期総会「祝電」)

総会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。本日を契機として、今後ますますのご活躍を期待申し上げますとともに、貴会および皆様方のますますのご発展を祈念申し上げます。

滋賀県議会議長 佐野 高典

平成24年度 同窓会本部のあゆみ

① 平成24年度 本部定期総会

平成24年度本部定期総会は、去る5月17日(木) 湖北支部担当のもと県立文化産業交流会館(米原市)に於いて開催、県下支部より140余名の同窓会員の参加を得、来賓に滋賀県健康福祉部長寿課長様はじめ、長浜・米原両市長様並びにレイカディア振興部長様をお迎えして盛大に開催されました。恒例の功労者表彰9名、長寿慶祝20名の方が受賞されました。

議案はいずれも原案通り承認され、記念講演には雨森芳州庵館長の平井茂彦先生より「雨森芳州と生涯学習のまちづくり」の演題でご講演いただきました。



戸之洞会長の挨拶



来賓の方々



講師：平井先生



功労賞受賞者



出席者の皆様



長寿表彰

② 第14回 親善グラウンドゴルフ大会

平成24年10月30日、東近江市ふれあい運動公園にて、第14回滋賀県レイカディア大学同窓会親善GG大会が開催された。当日は天候が少し危ぶまれていましたが、何とか運営に支障のない状態で無事に終えることができました。

各支部から、それぞれの選出方法により、160名の皆さんが元気に参加された。この大会の最大の目標は、親睦と健康の増進であり勝負にこだわることなく和気あいあいの内に進められました。

賞品は表彰基準に従い、優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位は、男女別に各1名、ホールインワン賞10名、ラッキー賞(BBから一つ飛びに)48名、そのほかに参加者全員に参加賞をお渡した。大会予算の都合で参加費300円を頂きました。



今回は、支部会員の親善を旨として従来の各支部対抗戦を廃して、個人別のグラウンドゴルフ競技に徹し、8ホール4コースで清々しい汗を流し、草津校より在校生の出場協力も得られました。

反省点としては、本部詰めの運営スタッフをもう少しお願いしておけば万全であったと

思った。また、開催時期や、時間(終日開催?)

について、考慮の余地があるとのことご意見を頂いた。ラウンド方式は各種ありますが、打ち合わせ周知の時間が持たなくて戸惑いを生んだことは、私の不徳でした。

しかしながら今年度は、大会要項や事前準備項目を詳細に検討し、運営の全体像の把握について、分かり易く致しました。次回の開催当番支部のご参考になればと思っています。



③ 第5回 地域活動事例発表会

昨年度までは、草津校と米原校にそれぞれ分かれて実施していた地域別活動事例発表会を今年度は、全支部が一堂に会して「親善・交流」を図ることを目的として、下記の内容により実施した。

当日の発表で特に印象深かったのは、湖東支部の「認知症の親と向き合う」小宮氏の発表で、人間誰もが抱える宿命（生・病・老・死）の過程で、何時発症するか分からない非日常と向き合い闘っている様子をまざまざと述べられ、非常に深く感銘を受けました。

平成25年1月29日(火) 9:50~15:40
於 滋賀県 レイカディア大学草津校



発表テーマ	支部名	発表者
【自助具工房。ケアークラフト002（おおつ）】における 広報活動の改善	大津	スポレク・21期 岡崎 一郎 健レク・33期 中村健一郎
近江八幡における 卒業後の活動	近江八幡	園芸・28期 森 治雄
認知症の親と向き合う	湖東	生活科学・31期 小宮 俊昭
私とボランティア活動 (楽団わいわいによる演奏活動)	甲賀・湖南	地域文化・31期 平田 尚士
村を盛り上げるまちづくり	湖北	園芸・26期 吉田 英治
分会に於ける活動7事例	中部	生活科学・28期 澤 吉見
「レイカ野洲」会設立経緯 並びに活動発表	守山・野洲	地域文化・30期 山中 幸夫
こんな「チョイボラ」やっています	草津・栗東	生活科学・26期 谷口 岩人

【当日の来場者数112名】

心なごめるコンサート

休憩中の発表は、玄関ロビーに於て甲賀・湖南支部の（楽団わいわい）による演奏と歌唱があり、現代の万人に愛され馴染まれている曲や、童謡・懐メロ、ラストオーダーとして和太鼓も叩かれて勇壮な大漁節も披露されて参加聴衆の喝采を浴びると共に、私達も元気と感動をもらうことが出来た。



2012年

各支部の活動

大津支部の平成24年度は各種活動に加えて
学校応援活動を重点に活動してきました。

大津支部



小学校応援剪定活動、堅田小学校(6/18)
小学校応援活動には14校399名が参加



2月1日石山寺前の洗心寮で新年会



支部総会は4月21日午後1時から
レイカディア大学草津校で51名参加



5月11～13日大津市生涯学習センター
に於いて会員作品展を開催



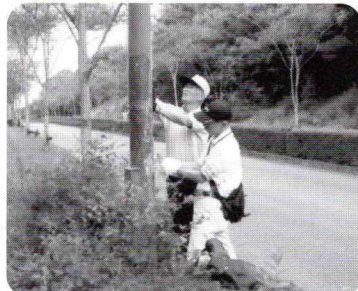
マジック・紙芝居・絵手紙のサークル
活動は各地で出前講座
大津生涯学習フェスティバルにて
(10月20日マジック・紙芝居)



伝統の大津祭り曳山巡行には
在校生や初の女性会員も合わせ
15名が参加(10月7日)



健康部主催：グラウンドゴルフ大会
4月19日 矢橋帰帆島



9月3日違法広告物の除去活動
(スッキリ士隊)5回で133枚除去



10月18日大津市生涯学習センター
で新入会員歓迎会を開催



24年12月2日比叡地域ヨシ刈り
集合写真(23年度は7箇所44名)



文化部主催：市民陶芸教室
10月5日大津市生涯学習センター



研修部主催：健康講座
9月20日大津市民病院

25年度は学校応援活動を大津支部の組織的・地域的な活動の
第2年目として更に計画的に展開していきます。

草津・栗東支部

★魅力ある活動を目指す1年でした★

アクションプロジェクトチーム(魅力ある支部づくり)での検討

会員が増えない、行事の参加者が少ない、レイ大応募者が減少している等諸課題を解決するため、活性化委員会(アクションプロジェクトチーム)を6月に設置し、提案を理事会に行った

提案に当っては、アンケート調査、会員懇談会を開催して会員の意見を聴き、委員・理事会で検討を行った。提案は、同窓会の目指す姿の明確化と事業活動内容、組織の見直しや課題の解決対策等幅広い内容となったが、実効を上げるためには、今後の実行態勢や会員の協力が鍵となる。

総会

4月29日 於：アヤハレークサイドホテル
23年度報告・24年度計画の審議、新役員承認後、講演「誰もが自分らしく生きるために」(島田司己先生)のお話を聴講した。その後、和気あいあいとした懇親会で盛り上がった。



4/29開催の総会の様子

理事会

【総務部担当】

年5回支部重要事項の審議のため開催。支部活性化委員会の提案を検討し、魅力ある支部に向かって推進することにした。各理事は、担当地域の会員のニーズ・意見の収集、支部情報の伝達にも力を入れる。

グラウンドゴルフ大会

【体育部担当】

(春季) 5月16日 於：草津市弾正公園
(秋季) 9月13日 於：草津市弾正公園
人気のスポーツで、参加者が多く、楽しみ、運動になり、交流が図れるため毎年の行事として開催中



◀グラウンドゴルフ大会

2/24~2/26
作品展・活動展 ▶



作品展・活動展

【文化部担当】

2月24日~26日 於：草津市立図書館3F
出展者34名108点の出展、130名の来場者
絵画、陶芸品、写真、書、短歌、俳画、絵手紙、切り絵、活動紹介など多彩な作品・活動等の展示会であった。

機関紙「かわらばん」

【広報部担当】

2か月に1回、支部、会員の諸活動の紹介。支部の活性化の一貫を担うよう検討中。

研修バス旅行

11/18

【研修部担当】

(新入会員歓迎懇親会を兼ねる)
湖東の紅葉を愛で、平和祈念館、永源寺温泉、池田牧場等バスで訪問しながら、同窓仲間の親睦を深める旅行であった。

新入会員歓迎会

11/18

【総務部担当】

レイ大草津校にて 本年入会総員35名

地域活動事例発表会

1/29

【同窓会本部研修部主催】21生活 秋山謙二さん
手作り紙芝居滋賀ネット「ぴよんた」の活動について発表

体験会、講習会

- ◎ニュースポーツ「ディスコン」体験会 (12/5 於：レイ大草津校体育館、指導：滋賀県ディスコン協会)
- ◎初心者グラウンドゴルフ講習会 (4/18 於：栗東市野洲川運動公園)

守山・野洲支部



**同窓会新入会員
歓迎懇談会開催**

【開催】 平成24年10月12日(金)
 【場所】 吉身公民館 1階大会議室
 【新入会員】 守山市 16名
 野洲市 3名

第28回 グランドゴルフ交流会開催



【開催日】 平成24年10月24日(水)
 【場所場所】 立入健康グランドゴルフ場
 (32ホール パー96)
 【参加者】 36名

優勝	鳥居 義樹	スコアー79
準優勝	河村 利逸	スコアー85
3位	村中 治之	スコアー88
4位	西村 武	スコアー92
5位	上田 操	スコアー92

第9回 歩こう会(太郎坊山周辺コース)開催



【開催日】 平成24年11月16日(金) 【行先】 東近江市太郎坊山周辺 【参加者】 7名

良い天气に恵まれ7名全員が車利用だったので、階段をバイパスして、参集殿まで車で上がりました。そこでラジオ体操をしてから、歩き出し、太郎坊宮に参詣、紅葉と景色を楽しんだ後、太郎坊山～箕作山からの眺望がよく遠く雪を冠った山も美しいものでした。そこから瓦屋寺へ降りここでも紅葉を楽しんで、参集殿下の駐車場へ帰りました。

甲賀・湖南支部

★魅力ある支部活動に積極的に参加できる運営を目指して★

今年度は理事の改選年度に当たり支部長以下多くの役職が初めての経験から事業計画により、前年度の経緯を参考に新たなアイデアを求めながらどれもこれも手探り状態で事業消化に努めた1年でした。

総会

4月24日 午後1時30分 水口中央公民館 参加者43名 23年度報告、会計決算報告・24年度事業計画、会計予算案、新役員を承認後、「防災に関する講話」水口消防署員のお話を聞きました。

理事会

【総務研修部】

年間6回開催し各支部計画を如何に魅力あるものとして会員が参加していただけるか全ての役員が推進に努力しました。



「力強い新入会員のみなさん」

新入会員歓迎会

【総務研修部】

10月18日 土山中央公民館 新入会員15名 会員35名参加し自己紹介の後支部活動等の内容説明し、地元の高橋氏の「土山宿を通った4人の紀行文から」と題してご講演を聞き昼食を共にし交流を深めた。

趣味の作品展

【総務研修部】

10月17・18日 土山中央公民館 陶芸・書道・絵画・写真・盆栽・文芸・切り絵・手芸等会員の力作60数点が出展された地元への周知不足から会員以外の観覧者の来場が少なく次回の課題となった。



1日研修旅行

【総務研修部】

10月16日 愛知県知多地方 会員37名が参加し中部電力武豊火力発電所メガソーラータケトヨを見学、3.11の原発事故で新たな電力、壮大なメガソーラ発電に全員感嘆の声をあげた。その後酒造会社での酒の歴史を聞き試飲等を楽しみました。



グランドゴルフ大会

【健康福祉部】

秋季 9月20日 水口野洲川グランドゴルフ場 参加者26名 9月下旬とは言え大変酷暑の中、参加者一同楽しく交流を深めつつ勝負に徹してラウンドを進めました。

支部だよりの発行

【文化広報部】

毎年1回支部だよりを発行 3月1日付け 支部活動の報告と反省、会員の声、文芸作品等を紙上に発表し全会員に配布する。

★同好会の現状……

グランドゴルフ同好会

登録会員26人 年間5回の競技会を開催し会場も甲賀、湖南両市を渡り毎回違う会場で楽しんでいきます。

里山ハイキング同好会

今年度新たに結成されました。年度当初から参画者を募集し発起人一同慎重に立案し10月12日第1回を実施しました。

近江八幡支部の現状

近江八幡支部

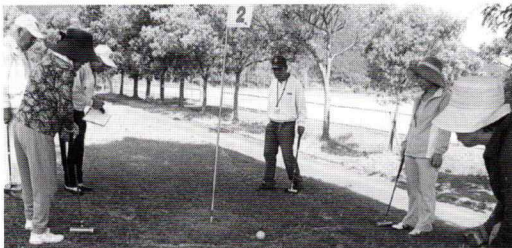
会員各自が多種多様なボランティア活動などに参加しているためか、支部の総会や各種事業等に思うように参加者が集まらないのが現状です。

主な活動の一部を写真にて紹介いたします。



グランドゴルフ大会

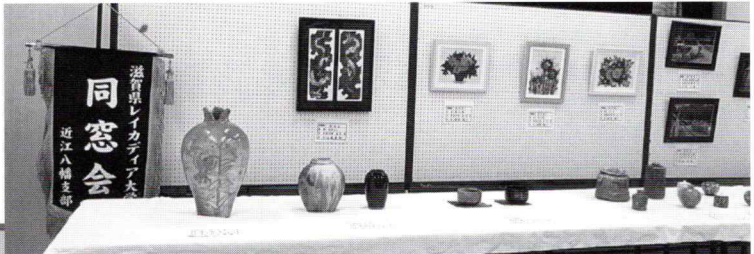
執行部及び地区幹事合わせて35名の大世帯です。



マレットゴルフ大会



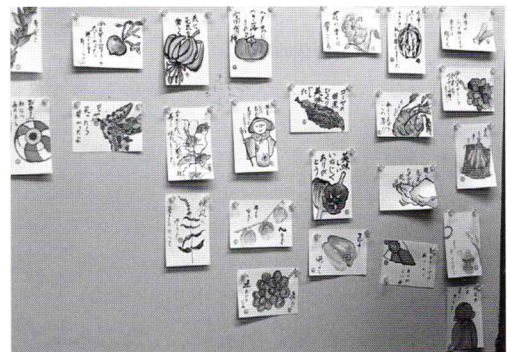
支部役員会



作品展示会



絵手紙講習会



絵手紙講習会での作品

中部支部

平成24年度 定期総会を開催

於：延命荘

平成24年4月18日(水)、滋賀県レイカディア大学同窓会中部支部定期総会が、東近江市老人福祉センター「延命荘」に於いて開催された。

開会のあいさつの後、物故者に対して黙祷を捧げ、同窓会憲章を唱和し、議事へと進行された。

24年度は、役員改選年度に当たり、最初に新年度の役員改選が行われた。



新年度役員改選される

中部支部では役員担当分会が輪番制となっている。今年度からの2年間は、日野分会・竜王分会・永源寺分会から選任することとなった。

続いて23年度の事業経過、会計決算報告が、監査意見を付けて承認された。

引き続き平成24年度の事業計画及び会計予算案が慎重審議の結果すべて可決承認された。

議事終了後、記念講演があり、「会報でみる同窓会30年」と題して、湖東支部長・山岡昇氏のお話を聞いた。



休憩後、アトラクションとして、童謡を歌う会「とうりゃんせ」の皆さんによる「童謡・唱歌・なつかしの歌」が披露

余興で盛り あがる

され、それぞれが万感の思いで聞き入った。また、新年度役員が即興歌謡寸劇や参加者による趣味で鍛えた至芸の披露を楽しんだ。

最後に昼食懇談会に移り、四方山話に花を咲かせ楽しいひと時を過ごした。

神戸須磨にてあそぶ

今年度は、1日バス旅行を重点事業として、この盛況を期することとした。

かねてより分会事業と支部会事業内容が同種同様に重なり、参加者が減少傾向にあることを反省して、この「一日バス旅行」を成功させて、支部会活動を活性化させるための起爆剤とできればとの意見が支部役員会で度々話し合われ、それに取り組むこととなった。

結果において42名の参加を得ることができ、かつてない盛況を見ることができた。

友よし・味よし・景色よし

車中終始和やか、同窓会特有の泉のごとく湧き出す話が



尽きず、往路も帰路も旅程が短かく感じられた。

後の感想を聞いたところ「友よし・味よし・景色よし」の三拍子がそろって「来年もぜひに、泊まりもまたよし」の声を多く聞くことができました。



来年もぜひに!
泊りもまたよし!

役員名簿 新年度

平成24・25年度の二年任期で、支部長・副支部長・会計の三役は、日野・永源寺・竜王・王・五個荘分会が、また、監事二名は能登川分会が担当することとなった。尚、支部長は本部常任理事に、副支部長はそれぞれ理事に就任することとなり活躍が期待されている。

支部長	堀江 勇夫	会計	松居 信勝	理事	澤 吉見	監事	青木 忠雄
副支部長	松川宇一郎	理事	安井 武市	理事	鶴川 紘行	監事	西村 輝彦
副支部長	畑中 芳枝	理事	山本 耕三				

平成24年度支部定期総会開催

4月24日(火)彦根勤労福祉会館において、75名の参加者を得て支部定期総会を開催した。

平成23年度事業報告、収支決算報告及び平成24年度事業計画、収支予算並びに役員改選期のため新役員の改選を行い、全ての議案が満場一致で承認された。総会終了後、記念講演「雨森芳州と生涯学習のまちづくり」と題して平井茂彦氏(東アジア交流ハウス雨森芳州庵館長)を迎え講演を行った。

湖東支部



作品展開催



7月6日(金)～8日(日)彦根市民会館ギャラリーにおいて、作品展を開催した。

39人から、60作品が展示された。

支部会報の発行

8月10日付けで会報を発行した。

圓城忠新支部長の挨拶に始まり、「会員の広場」として第32期の新会員の思いを掲載した。

新会員歓迎懇親会開催

9月28日(金)甲良町一休庵において、第33期卒業の新会員8名を迎え開催した。

新会員の自己紹介につづき、先輩会員により、よし笛の8人による合奏、舞踊(青木さん、金塚さん)等のアトラクションを披露し、卒業の年次を問わず、会員の絆を深めた。



支部親睦グラウンドゴルフ大会

10月19日(金)甲良町総合運動公園において、58名の会員が日頃の腕を競い、いい汗を流し楽しい半日を過ごした。

会員研修旅行

「錦秋の美濃三山と徳山ダム」の研修旅行に43名が参加し、

快晴のよき日に会員同士の絆を深めた。

徳山ダムでは、紺碧の空の下に紅葉した山並みと冠雪の山並みが参加者の心を洗ってくれた。

谷汲山や横蔵寺でも紅葉が盛りで赤や黄色のコントラストが何時までも脳裏に残っている光景だった。



湖北支部

★平成24年度支部定期総会開催

4月18日、長浜ロイヤルホテルに於て、参加者33名にて開催。平成23年度事業報告、収支決算報告、平成24年度事業計画、収支予算が満場一致で承認されました。



7月12日 春季GG大会

11月27日には愛知川ふれあい運動公園で4支部（彦根・中部・近江八幡・湖北）交流グランドゴルフ大会が開催され、あいにくの悪天候になり厳しい条件の中でのプレーでしたが、普段疎遠になりがちな米原校の同窓生との交歓ができました。

★グランドゴルフ大会

7月12日春季大会、10月11日秋季大会を長浜ドームにおいて多数の同窓会員参加のもとに、盛大に開催され、元気よく、笑顔いっぱい楽しく仲間との交流ができました。



11月27日 4支部交流GG大会

★伊勢志摩研修旅行（研修部）

10月4日31名の参加のもと、伊勢神宮の奥の院とも云われ、伊勢音頭にも唄われる朝熊岳「金剛詮寺」にお参りして、展望台からは一望、志摩半島の眺望を楽しみ、「女性の願いを一つだけ叶えてくれる神社」として有名な「石神さん」詣でもして、神社総代の方から由来などを興味深く聞きました。

伊勢志摩の名産店ではお買い物を楽しみました。



★会報『こほく』発行（広報部）

湖北支部機関紙「こほく第18号」を1月1日付発行しました。「私の一言」は110名の支部員の投稿があり、その近況や元気な活動ぶりなどを知ることが出来、学生時代をなつかしく思い出しました。

高島支部

【平成24年度総会】

4月24日(火) 高島市勝野「わたしょう」に於て本年度の定期総会開催。参加者28名、支部長挨拶に続き、平成23年度事業報告、決算報告、監査報告と本年度事業計画及び予算案と支部会則の修正等すべて原案通り可決した。役員改選期に当り、新執行部人事も満場一致で承認された。

【1日研修会盛会裡に開催】

《新会員歓迎会》同日実施、参加者24名

日本仏教の一大聖地を巡る旅 10月10日 快晴
行程：☆横川中堂 ☆延暦寺の根本中堂・
大講堂 ☆圓城寺(三井寺)
☆浜大津 あたか飯店(歓迎会)
☆日吉東照宮 ☆慈眼大師廟庭園
☆天台真盛宗 西教寺



比叡山山頂にて参加者全員記念撮影

爽やかな青空の下で 【親善グラウンドゴルフ大会開催】

10月20日 今津町運動公園 参加者11名
和やかにプレーを楽しみました。



地域活動最前線 【園芸レイボラ剪定作業】

8月25日(土) 高島支所庁舎前
作業参加者 12名



【趣味の作品展・活動展】

11月12日～16日 今津東コミュニティセンター
出品者 28名 作品数 86点



滋賀県レイカティア大学同窓会

功労者表彰・受賞の喜び

本年度定期総会における功労者表彰は、各支部から選ばれた1名ずつ、計9名の方が受賞の栄に浴されました。日頃のご活躍の様子、今後の抱負などご寄稿ねがいました。



功労賞を受賞して

大津

第19期 陶芸学科 齋藤 治子

この度は本部総会において思いがけず功労賞を頂き、誠に有難うございました。これも歴代の支部長様はじめ、皆様方のご支援のお蔭と感謝いたしております。

平成10年卒業時、今は亡き連れ合いの勧めにより同窓会に入会し、それ以来皆様と共に支部活動に微力乍ら努めて参りました。

支部ではサークル活動で、絵手紙・パソコン・市民参加を受け入れ喜ばれております。

陶芸科を卒業後、水口の碧水荘で各支部の同窓

生が集う会に入り、絆も深まり今も楽しく作陶し有意義な時を過ごしております。

長年続けている趣味の仲間を支えられ穏やかな年を重ね自分のために楽しさを見つけ生涯現役を目標に、ぜいたくな時間と好奇心、心身の健康第一に、何より充実した毎日にただ感謝です。

同窓会のますますのご発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。有難うございました。



母校に感謝

草津・栗東

第22期 文芸学科 中尾 恭夫

私は68才でレイ大文芸学科に短歌と書道を学ぶ事が出来ました。商学部卒業後44年間エコノミックアニマルの私が古典文学(和歌や甲骨文字)を理解出来るかと心配でしたが2年間充分充実した文学知識を身につける事が出来、卒業後は短歌と書道を楽しんでいます。ボランティアで頼まれて指導の場を与えられ地域に貢献しています。又2年間に多くの仲間を得る事も出来ました。私はこの度因らずも同窓会から功労表彰を戴きました。これ迄何度か表彰を

受けましたが、今回の受賞は最高に嬉しい限りです。これも母校レイカディア大学で学んだ知識と卒業後の同窓会活動のお蔭と感謝しております。

さて、昨今の母校の受講生激減で同窓会役員のご心労がひしひしと感じられます。出来ればレイ大卒業生は一丸となって母校愛精神を発揮し、同窓会活動を盛り上げ、母校存続気運と行動を起すべきと思います。私も何等かのお役に立ちたいと思っています。



受賞に際し諸先輩・同輩に感謝

守山・野洲

第22期 陶芸学科 鳥居 義樹

本年度の同窓会本部定期総会におきまして過分なる支部推薦を受けて、功労者表彰を受賞するという誠に身に余る光栄に浴し、日ごろご鞭撻やご協力頂いている諸先輩同輩のお蔭だと感謝に耐えない次第であり

ます。顧みますと、平成13年陶芸学科を卒業と同時に同窓会守山野洲支部に加入、以来得意とするスポーツの地域振興交流を中心に、作品展等文化振興も心掛けると共に、学科助手及び同窓会支部行事の企画消化、陶芸2団体での作陶活動と地域

ボランティア活動などに、多くの同僚仲間の応援を得て、随分欲張った予定表を11年間病欠無しに、消化することで一生懸命でした。来年は卒寿を迎えますことを機に、今後は全般のペースを下げて、

地元のボランティア活動を主に無理なく且つ「ピンピン・コロリ」の実現に向かって持病を取り込み、ストレス解消と健康第一をモットーに、背骨を正し前向きに生きたいと考えております。



生涯現役をめざして

甲賀湖南

第20期 スポレク学科 富永 藤吉

「頭とからだとハートを使って健康長寿を全うしよう」とのレイカ大学の教えをモットーに、今も年金事務所などで年金相談等をしています。「2人で仲良く元気に100歳まで」と年金相談のお客様にも言い、自らもその実践に努めています。又老齢年金の請求に來られた方には、「60歳は第2のスタート、新しい人脈が出来ます。」とレイ大入学を奨めています。(平成25年度から年金は61歳から)

自分は甲賀市水口でスポレク学科の先輩が築かれたレクレーションダンスサークルに入り、良い指導者にも恵まれ、仲間と毎週水曜日の午前中爽やかな汗を流しています。

10年も前のささやかな協力にご褒美をいただき感謝しています。レイカ大の存続も議論される世相ですが、高齢者にとっては大切な制度です。健康長寿のため制度存続のため関係者のご尽力をお願いします。



功労者表彰を受賞しての喜び

八幡

第20期 生活学科 大西 一

この度は本部総会において、思いもよらぬ功労者表彰を受け身に余る光栄に存じます。生活科学科の20期生として卒業しています。すばらしい先輩に恵まれ、レイ大で学んだ知識を生かして、県自治推進委員、県歴史大学、水と緑の市民環境会議委員、そして地元の公園整備等、ボランティア活動をして大学の目指す仲間作りを実践しています。

現在私は、高齢者の生甲斐作りの団体に参加して社会活動をしておりますが、問題点も多く頭を

悩ますことが度々あります。その都度レイカディア大学同窓会憲章の①、「互いに助け合い高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう」②、「心身の健康を保って社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう」③、「社会の発展に即応する高齢者像の具現の為に励み合い、提携し合う輪を内外に広めよう」繰返し頭にたたみ込み頑張っています。

最後になりましたが同窓会の益々のご発展と会員のご健康とご多幸を心よりお祈りします。



仲間と共に

中部

第25期 園芸学科 大西 豊巳

この度は私ごとき者が功労賞を頂き申し訳なく思っております。

近年の受賞者の方々におかれましては同窓会での役職を歴任され、また地域においても立派に貢献された方が頂いておられました。そんな中で肩書きも実績のない私が先輩をさておき受賞の榮に浴し身に余る光栄と恐縮し責任を感じております。

私が受賞出来たのは2人の後輩が身近にいてくれたことです。彼等とは各地域内で平成10年に区長として共に活動した仲間であり、その後も地域の中で個々に活動してきました。私がレイ大を卒業した後、彼等も園芸学科を順次卒業をしてくれました。そうした折り、町立公民館運営が町から区民による地域管理体制に移行されました。

それを機に3人で公民館の垣根の改修と庭木の剪定作業を始めたのが3人による活動の原点となりました。その後、町の福祉関係から奉仕作業の要請を受け継続して活動をしています。

現在3人は地域内で、農・林業そして公民館活動に努めております。今回仲間に頂いた功労賞を重く受け止め、心機一転大学の基本理念を果たしていくために努力して行く覚悟です。



全員主役で無理せず楽しく

湖 北

第23期 文芸学科 森川 栄寿

この度は身に余る功労賞にあらずかり驚くとともに、経歴から見て聊か面映ゆい思いが致しますが、ご推挙頂き感謝申し上げます。

振り返れば会社人間から地域社会人間に脱皮を目指して本学で学び、卒業後は民生委員で9年間、地域里山活動『横山はらっぱ倶楽部』が9年目、専攻の俳句は花藻同人、書道は米公クラブで、引き続き仲間と継続は力なりを念じて頑張っています。

ここまでやって来られた要因は私なりに『全員

主役で無理せず楽しく』をモットーに取り組んで来たと自負しています。

会社と異なり地域はヨコ社会、役員のなり手が無いなら全員役員、ノルマをかけず楽しさ追及が同窓会を含め地域活動の活性化と継続のために肝要と考えます。

地区幹事として6年間、広報・研修部員を努めさせて頂きましたが今回バトンタッチさせて頂きました。今後も一会員として積極的に参加し交友の輪を広げたいと考えています。



功労賞を受賞して

高 島

第24期 園芸学科 磯部 健三

新緑の風薫る五月晴れの佳き日、去る5月17日米原文化交流センターに於いて、レイ大同窓会本部総会が盛大に開催された。席上同窓会高島支部功労者として栄ある表彰を受け感激と喜びで一杯です。今回の本部表彰については、高島支部長や関係諸役員様の絶大なる御推挙があったと伺っております。誠に有難く心より厚く御礼申し上げます。

顧みますれば去る平成15年レイ大卒業と同時に同窓会高島支部に入会致しました。その後支部役

員改選に伴い理事に就任、1年後に副支部長に推挙され、3年間活動させて頂きました。高島支部長が本部役員を兼務されており支部長代理として本部役員会の都度出席しておりました。副支部長退任のあと監査役として本年4月までその任に当っておりました。監査役退任後一会員として同窓会の活性化、発展のため微力ではありますが精一杯頑張っていく心積りです。

まずは受賞に際し心からなる御礼を申し上げます。有難うございました。

湖 東

第20期 スポレク学科 若松 實

体調不良のため療養している次第で同窓会原稿の件うまく書く事ができませんので、ご迷惑をお掛けいたしますがよろしくお願い致します。

副支部長兼彦根分会長、分会を立ち上げ第一回分会総会を開催。併せて、レイ大卒業生によるスポレク金亀会会長。地域では、自治会長、防災会長、宮世話、寺責任総代、県グラウンドゴルフ協会常任理事を努める。

◆長寿慶祝受賞に際して◆

わが人生—忘れ得ぬ思い出

米寿をお迎えの36名の方々に、総会席上で長寿のお祝品が贈られました。
過ぎし日を振り返り、忘れ得ぬ思い出をご披露いただきました。



白寿の賀寿に恵まれる、人生の有難さを

湖北支部 第2期 陶芸学科 北村 勳七

召集令状2回応召致しまして、昭和20年8月15日終戦の天皇陛下のお言葉で召集解除を頂きました。ふる里に帰還後に復職し復職1ケ年後マッカーサー指令で職場追放に遇い、2ケ年復職その後職場の大学校本科6期生を卒業させて頂きました。職場では責任ある立場で定年。定年後お蔭を以って数ヶ所神社宮司を奉仕し、傍ら老人ク

ラブ連合会長、平成4年の秋の叙勲に浴し陛下のお言葉を賜り感激の極みでした。其の後滋賀県老人大学校第2期生に入学、卒業後湖北支部同窓会員で歳月が流れました。ここに本年県総会の席で白寿の賀寿に恵まれましたこと此の上なき一生の思い出でありまして、愈々滋賀県レイカディア同窓会の弥栄を祈念致しましてお禮の辞に代えさせて頂きます。



わが人生の忘れ得ぬ思い出

草津・栗東支部 第18期 園芸学科 小林 達男

思い出は、走馬灯のように、グルグル廻りて止まることを知りません。

私の巡りきた88年を回想すると、戦後から現在までの回想が脳裏に浮かんでいきます。

日本は昭和20年8月15日(1945)連合国に無条件降伏し戦争は終わりました。国破れて山河も荒れ果て、食べる物も住む所もないところに、60万人の日本人が帰国。この状態をどう切り抜けるか

アメリカ連合軍総司令マッカーサーは、昭和26年帰国時、日本人は年令12歳と言われたのを如何に立直すか?。国民所得の増加による三種の神器、ついで3C時代へ、高速道路・新幹線・東京オリンピックへの発展時に、レイ大に入学し諸兄に見なっていて、健康適歩こう会・古典教室に通学し、私生活の晴耕雨読と趣味の古典、水墨画と幅広く充実した人生を送れるようになったことを、深く感謝しお礼の言葉とさせていただきます。



わが人生—忘れ得ぬ思い出

草津・栗東支部 第20期 スポレク学科 原 邦夫

昭和20年8月終戦の翌年2月から約35年間大津市役所に勤務して参りました。

その在職中の事業の中から当時の国鉄(JR)との交渉で、京都駅—草津駅間の復々線の実現について、膳所—石山間の用地買収で或る会社のみが買収に応じないので、その会社の本社静岡県に課長

補佐を派遣して調査資料を作り、交渉に当って、やっとOKという解決により昭和44年2月15日までに解決されない場合は国鉄は「復々線は取り止め」になっており、私は昭和43年12月15日から2カ月間に何としても解決しなければならない為、その前日の2月14日に解決したという1件で、今もJRで現地を通ると当時の苦労が思い出されます。



わが人生忘れ得ぬ思い出

守山支部 第12期 生活学科 大坂 綾子

米寿のお祝いをいただき、有難うございます。厚くお礼申し上げます。

卒業して早くも20年になります。友達のお誘いをうけて老人大学へ入学しました、そのときは老人大学と言っていました学級の男性の方が婦人会みたいだなと言われた事を今思い出しています。2年間大津校へ通いました。昔の女学校時代を思い浮かべて、色々と学んで友達も沢山出来て

楽しい思い出が一杯です。卒業式にはクラスで作った造花を皆で胸に飾り出席いたしました。卒業した年に主人に先立たれ悲しい日々を過ごしてきました。老後をどう生きるかだれもが直面することです。色々な生き方によって豊かで明るい人生にもなる残りの日々を健康に注意して、趣味を持ち美しい年輪を刻みたいと思っています。87年生きてきて一秒をいとおしむ感謝の毎日です。



レイ大卒の喜び

湖北支部 第20期 生活学科 倉谷 喜美

過日は、レイ大同窓会の席に於きまして、米寿慶祝を頂き大変有難うございました。

人生最高の思い出は、70才にしてレイ大20期生として入学したことです。人生経験豊かな友達と共に地域では学ぶことの出来ない博識豊かな諸先生方の素晴らしい講義を受け視野も広まり、レイ大で学ばせていただいて良かったと大変嬉しく感謝しております。

いいだろうか、遠く不便な西浅井から通学出来るのか等不安もありましたが、幸い家族の支えやまわりの友達の励ましのお蔭で卒業出来ました。地域社会では、この経験を生かし乍ら微力ではありますが、高齢者が健康で和やかな余生が送れるようなボランティア活動等に参加しています。いつまでも健康で輝く人生を送りたいと願っています。

最後になりましたが同窓会のますますの発展と皆様方の健勝を念じ筆をおきます。ありがとうございました。

入学当初は、このような方々と机をならべても



“米寿を迎えて”

湖東支部 第20期 スポレク学科 野村 利子

しらぬ間に88歳にならせて頂きました。

この度、思いがけない米寿祝を頂きましたこと感謝の気持ちで一杯でございます。思い返しますと、3歳の時父が商売を始めるのに大阪で教育を付けるため連れて行かれました。まだ、母が恋しい年頃でしたが、20年の歳月が過ぎた頃、空襲が烈しくなったので引き上げて帰りました。それから、農協へ40年、役場に12年間奉職させて頂きました。当時行政から思いがけなく老人大学に2年間の入学をお勧め頂きました。不安

ながらの入学も、立派な先生や素晴らしい仲間に恵まれ、《星が一杯輝くような仲間が終始》私を支えてくれました。最高の20期生との絆は石よりも硬く、もうすぐ90歳になる私の大きな財産となりました。第二の主婦業は広い範囲の畑を耕し、趣味の方も、生涯学習として若い人たちに(力)をもらいながら頑張ります。88歳！まだ88歳です。亡き母の歳・100歳まで、まだ12年間もあります。可愛い孫たちのためにもがんばります。同朋の皆さんの健康とご多幸をお祈りしております。

合 掌



長寿慶祝を受けて

湖北支部 第20期 園芸学科 中西 時夫

平成24年5月17日米原校において開催された本部定期総会において、標記の賞を受けました。皆様のご支援のお蔭様で、大変有難く存じます。私は平成3年第1回古文書学科の卒業生で、また平成5年第14回園芸学科を最後の老人大学で卒業させていただきました。最近は古文書も園芸も疎くなってしまい、現在は短歌を習い日に二、

三首を詠んで愉しんでおります。卒業して20年も経ちますと同級生と会う機会もなく、寂しい時もあります。人間希しきご縁にて古文書学科の方と同じ結社で毎月七首の短歌を誌面にて拝見しており、大勢の人の中で身近に会える友との喜びが身に込み、生きている限り友との深厚を一層温めていきたいと願っております。



生涯忘れ得ぬこと

湖北支部 第15期 文芸学科 杉山 幹三

ソ連が参戦したという事で急遽満州へ移動する途中もうすぐ満州という所で列車は停車し全員が降ろされ、そこで始めて終戦を知らされました。もう夜になっていましたが、集結地へと引き揚げる事になり、夜の道をとぼとぼと音をたてずに歩いて居りましたが急に足が痛くなり隊列について行けなくなり、だんだん後へ後へとさがっていました。そんな時先頭を馬に乗って進んで居られた将校の方が馬から降り私を馬に乗せて自分

は手綱を取って歩いて付いて来て下さいました。あのまま暗い夜道に放って行かれたら、生きては居られません、必死になって付いて行こうとしている時、本当に神か仏かと思われました。

お蔭様で無事大津の集結所へ引きあげる事が出来ました、その時助けて下された将校様のことは生涯忘れる事はありません。無事復員し命ながらえ米寿を祝う事の出来たのもその将校様の御蔭と忘れる事は出来ません。



88才からの新しい人生が始まる

湖北支部 第16期 スポレク学科 松井 好枝

平成24年正月は、主人90才健康で車も運転し、「2人で元気目標100才」と仲よく幸せでしたが、主人入院10日、4月5日に肺炎で他界。葬儀には同窓会より生花。私5月17日総会に米寿のお祝を頂き、重ね重ね厚くお礼申し上げます。

主人亡き後淋しさは拭いきれず涙々の毎日。その間、お友達・息子夫婦孫のやさしい心の言葉かけ、お便り電話、又おかずを…主人への供物供花等に支えられ、立ち直らなければ……。

忌明後「私の出来る事をして楽しみ希望に向っ

て前向きに輝いて生きよう」と力が湧いてまいり、今までの生命の貯蓄、体操に火・水曜日は行き、その他の日は主人のしていた畑に仏様のお花・トマト・きゅうり・とうがらし・さつまいもなどを植え、朝夕の畑廻りが楽しく、咲いた花を供え、お経を唱え、作物の収穫、食卓にと…笑顔の写真に話し、喜びのひとり暮らし。

以上皆様の暖かい支えと、7・8月ロンドンオリンピックにも背中を押され88才からの新しい感謝感激感動の人生が始まりました。



忘れ得ぬ思い出

近江八幡支部 第12期 陶芸学科 西川 甲三

米寿の御祝をいただき有難う御座いました。

今年も暑い終戦の日を迎え、テレビ各局は戦地や国内空襲の惨状を放送しています。

私は20年3月に軍隊に入隊し、南九州の山中で終戦となりました。その間、新聞・ラジオ放送等は見ることが無く、従って終戦の詔勅も聞かずにいました。

誰言うとなく敗戦を知らされましたが、直ちに

信用する事は出来ませんでした。十幾年軍国教育を受けた者には、人に言われぬ悔悟と虚脱感におそわれ、行く末の不安も伴ってやる気を無くしていました。

やがて復員となり、帰郷の途中、国鉄山陰線の或る駅で下車した時、駅長さんが第一次世界大戦で大敗したドイツが立直った事例を私に話し、勇気を与えてくれました。毎年8月になるとその言葉を思い出して、考えさせられます。



南無阿弥陀佛と私

湖東支部 第16期 文芸学科 西村 博

南無阿弥陀佛という言葉は、佛前にお参りする言葉と聞かされて来た。その言葉が身に危険

を感じた時、自然に心の底より唱えていたことを私は2度経験している。何れも昭和20年のことである。1回目は3月13日夜半よりB29による焼夷弾攻撃で、一夜にして大阪の街が焼け野原となった時である。熱風にあおられ、友と二人で、進水

したばかりの貨物船の船底に逃げ込んだ。警報鳴り響きB29が次々と頭上を通り過ぎた時、何時の間にかこの言葉を唱えていた。2回目は、特別幹部候補生の訓練中、敵戦闘機の機銃掃射を受けた時、銃弾が運動場に打ち込まれ、眼の前に迫って来る、急いで蛸壺に飛び込み頭を下げ、この言葉を唱えていた。



健康の日々

高島支部 第20期 文芸学科 大江 ち江

平成24年のレイ大同窓会の総会にお招きを受け「あゝもうそんな」と自分の高齢を再確認

した私、何しろこの年齢の今をもって病气らしい病気を一度もしたことがないのが誇りで、年毎に受ける健康検診も毎回異常なしの結果表を頂いている。同年輩の人々が腰痛だ何だと病院通いをされるのを横目に見ながら畑仕事をたのしむ日々で

あり、若い頃始めた短歌作りに古い頭を駆使しつつ晴耕雨読の生活を続ける私である。

多くの先輩方のお勧めで、72歳の高齢に不安を持ちつつ入学したレイ大草津校に文芸学科20期生として、10歳も年齢差のある人達と机を並べて学んだ2年間を今も宝と振り返る。短歌生活も50余年、今も遠近を問わず短歌会には出席して歌を語り合えることに最高の幸せを感じる自分である。



長寿慶祝受賞に際して

草津・栗東支部 第16期 スポレク学科 田村 平次

この世に生を享け87年、長寿の一里塚として米寿を迎えることとなり、先の定期総会に於

いて慶祝いただきまして誠に有難うございました。私自身思いもよらぬことで驚いているところです。戦中戦後から現在迄世の中の変遷は激しく、兵

役、戦後の労働争議・学生による大学紛争・国民所得の倍増論・大阪万博・新幹線及び高速道路の開通・石油ショック・定年延長への移行・経済の高度成長とバブルの崩壊・近年の地震、津波、原発事故等々政治的・経済的な大きな変化とこれら

に対処するのが精一杯の人生であったように思っております。今後どれだけの寿命があるかは計り知れないが、現在のような政治不安が解消されて安らかな生活が出来るようになることを切に望むものであります。



わが人生－忘れ得ぬ思い出

湖北支部 第11期 園芸学科 小林 末雄

航空情報軍務に服し、薩摩半島の先端枕崎に駐屯中、戦争終結の報をうける。

現地解散となり帰郷の途につくも、その3日前に右足負傷、松葉杖に頼る身となったことから意外な苦難に遭遇する。それは九州の大半の鉄橋が爆破され、列車の直通運行不能の事態に、渡し舟で運ぶ手段が……松葉杖で歩む自分が川岸に辿り

ついたときには、既に渡し舟の出た後で、翌日の便まで野宿する。更に過密列車の窓からの乗降に難儀し、漸く九州の地を脱出したとき8日を要し、この間、口にしたのは水と梅干しのみ、衰弱瘦身の惨めな姿で9日目にわが家に帰る。そのときの感慨は筆舌に尽くせない、いつまでも忘れ得ない苦い思い出である。



長寿の幸せ

中部支部 第14期 園芸学科 岡本 幹雄

この度、定期総会に於いて米寿のお祝をいただき有難うございました。

私達の年代は戦前戦中戦後と波乱に満ちた年月でした。生まれつき体が弱く米寿を迎える事が出来るのも偏に神仏の御加護のお蔭と感謝して居ります。レイ大同窓の友も卒業後20年近くなり少しづつ欠けてゆくのが愁しいこの頃、園芸学科で習

った盆栽も大方は減らして何とか続けて居ります。卒業後も県内の多くの方と交流が出来た幸せ、又、70歳を過ぎてから書道クラブの仲間入りをして今日の生甲斐の一つと思ひ向上心を失わず充実した日常生活を心掛け、5人の家族に支えられ、妻の病院通いが日常となりましたが、一日一日を大切に授かった余生を全うしたいと思います。



我が人生－忘れ得ぬ思い出

中部支部 第15期 スポレク学科 萱原 登

この度、米寿のお祝い有難うございました。

昭和15年国鉄に就職し、18歳で憧れのSL機関士となり、戦争中は軍需輸送に、戦後は焦土と化した国土の復興に努め、早くも25年に国鉄は特急列車「つばめ、はと」号の復活運転を実施、その運転や名誉あるお召列車の運転を担当し、昭和51年に国鉄総裁より特別功労章受章、総裁と共に天皇陛下拝謁、平成4年春の叙勲で天皇

陛下より勲6等単光旭日章受章し2度目の天皇陛下拝謁の榮譽に浴しました。これも皆様のお蔭と感謝致します。この感激と共に生涯学習にとレイカ大を卒業し、町教育生涯課の指導もあり、平成14年4月高齢者の健康作りを目的とした「水車クラブ」を発足しました。現在地域の好評を得て会員50名で12年目を迎えスポレクOBが頑張っております。

わが人生－忘れ得ぬ思い出

近江八幡支部 第12期 生活学科 生田 かおる

この度は、米寿のお祝いをいただきありがとうございます。御座居ました。若い頃から弱かった私は、米寿迄生きさせて頂いて本当に夢のようで御座います。皆様と楽しくスポーツをしたり、生け花や編み物の趣味を持っていますので、花会とかには出しております。でも年のせいか歩くのがつらく、今は

デ－サービスに通っております。細かいことにはこだわらず、くよくよせずにおおらかに生きて行きたいと念じております。

同窓生の皆様の御多幸をお祈り申し上げお礼のことばとさせていただきます。

二人三脚

中部支部 第10期 文芸学科 松吉 良清

テレビで30人31脚競技の全国大会の実況中継を見た。選手は小学4年生以上の生徒達で、30人が足首を固定し合図と共に30m位の距離で速さを競う競技であるが、この大会に出場するのは予選を突破した各都道府県の代表チームで、高校野球で甲子園出場位の価値がある。その証明として、有名有力校の練習風景をドキュメント風にカメラが撮らえているが、選手全員の足並みが揃うまで、

そしてスピードが上がるまでの先生と生徒の努力は並大抵ではなく涙ぐましいものがある。このことを夫婦の2人3脚に例えるならば、走る速さは距離に合わせて身体のコンディションを考え相手への思いやり、協力、努力が信頼感となる。80余年も生きてこれた自分の人生と重ね合わせ、つくづく考えさせられるものがあった。

20歳の思い出

湖東支部 第15期 文芸学科 高木 徳本

20歳のとき、私は身ぶるいするような体験を二つもっている。その一つは、徴兵検査である。当時の日記に、その日のことをつぎのように記している。(原文のまま)

昭和19年6月22日 金曜 晴

「甲種合格！その言葉の何と厳肅なことよ。いままさに陛下の御桶たらんとす。すべてを大君に捧げまつるの決意。新鮮な感動が湧き上がってくる。生を神州に受くる光栄。いまこそつわもの一人として、古今未曾有の大国難に馳せん。

何かしら力の満つつあるを覚ゆ。」後略

文字通り厳しい軍国教育を受け、校門は営門に通ずると信じた多感な学生時代を思い、古今の感を深くする。ああ、范々67年。

(註) 徴兵検査の会場は、高宮小学校講堂

あと一つは、学徒勤労働員で大阪の造船所に派遣され、昭和20年3月13日。大阪の第1回空襲で焼け出された体験であるが、原稿紙の都合で割愛そして今、生かされた米寿に只々感謝している。

「右も左も皆同胞」「日々の御縁を大切に」

湖東支部 第20期 文芸学科 日下 和子

この度は米寿のお祝いをいただきまして恐縮に存じております。ありがとうございました。過去のレイ大の恩師、友を想い浮べ懐かしく心温まる思いを致しております。浄土真宗の寺院に生を受け、

現在もみ佛の教えに感謝して、御門徒のお詣りに専念致しております。毎日のお速夜詣りのお陰で「歩く」「会話」「法務」の繰返しです。御縁の深いお蔭で手伝いをさせて頂いております。年老いて、

特ダネ情報

★TOKUDANE JIYOUHO

★tokudane jiyouho

広報部推奨

【大津支部】 大津祭り曳山ボランティア

10月7日(日) 巡行参加

大津祭り曳山ボランティア活動は平成19年の秋より初めました。個人的には地域との関連で参加していた人もいたのですが、組織として団体で参加してから6年になります。

曳山は毎年決まっています、南保町の猩々山です。南保町の猩々山は山を支えている戸数が少なく、大変苦勞されているようで、当会としても意気に感じて毎年同じ山を曳いています。

曳手は合計26人で2本の曳網を左右のバランスを取りながら曳いて、市内を巡行します。

今年は20名以上の会員から参加希望がありましたが、女性会員とレイカ現役学生を含めて計15名が猩々山の曳手で参加しました。

祭は、毎年体育の日の前々日が宵宮、(宵宮の日も試し曳きで参加)次の日が本祭で、本祭には13の曳山町から13の曳山が出されて、終日コンチキチンの囃子と見事な「からくり」を演じながら市内を巡行します。

この伝統的な無形民俗文化財の活動に県民として参加できるのは、楽しいことです。

今後も新入会員を中心に猩々山このの曳山ボランティアを継続していきたく思います。



さあ、出陣!! (南保町・猩々山)

【大津支部文化部】 ～趣味をふくめて たのしく学ぼう!～

☆レイカ大津陶芸講座を開催 10月5日(金)

大津市生涯学習センター工作室において開催しました。一般市民方の参加が多く毎回好評を得ています。

今回はレイカ大卒業生(山本和男さん・村田保憲さん・西畑晴美さん・武田黎子さん・間木秀和さん・村島治平さん・嶋田一恵さん)に講師をして頂きました。丁寧な作陶のお手伝いを頂き受講された方から大変好評を得ています。

出来上がった作品は11月24日にお渡しました。

次回も是非参加したいとのご希望をたくさん頂いています。



残った粘土も最後まで使って



底の削りも終えて講師と出来上がりを熱心に談義中



出来上がり作品の一部口元に変化も付けて

【守山・野洲支部】

そば打ちの 病嵩じて そば畑



第27期 スポ・レク学科卒
村中 治之



「有人に誘われ挑んだそば講座」楽しく面白いよ よし続けるぞ!!
 続けています14年 今じゃ年40回越えの講習会のリーダーに、
 病嵩じてそば畑、耕し始めて丸5年、仲間も大勢できました。
 そば畑、種蒔・刈取・乾燥・製粉・自産自消の旨いそば、これ自慢
 まわりの仲間 皆上手、年越しそばも楽しんだ。
 講習修了者もたくさんに こんなに意義あるとはビックリだ
 楽しみ喜ぶ人達を見て 喜ぶこの私 もっともっと上手になるぞ
 でもムリかな 歳だもの まあボチボチ 出来る範囲で頑張ろう
 ご希望有れば何処へでも 車に道具積み込んで20人位ならOKよ

【守山・野洲支部】 『夢 農 園』

第25期 園芸学科卒 三輪 章

2000年2月定年を東京で迎え、故郷滋賀に戻ってから早いもので12年の歳月が流れた。

第2の人生をどう生きるか………自問自答して得た結論は、「心豊かな 清貧の世界」行動指針として健康・絆・遊び・学び・社会貢献であった。(中略)

出会いによって生まれた60歳以上の男性ボランティアグループの事務局長として、「すきまを埋める活動」を理念に、「弱者支援」に注力する会運営の基礎作りに、奔走したものであった。

その具体活動のひとつに、養護施設の子供達の夏キャンプに提供する「スイカ栽培」があり、それ以降、毎夏5個以上の大玉スイカの提供を、今も続けている。

初めて挑戦した「スイカ栽培」が夢を膨らませ、開墾した土地面積1500㎡、「夢農園」と命名、レイ大同窓生2名の仲間と共に農を通じて「育む」に挑戦し続けている。



中央：三輪
左：田中(27期園芸) 右：市村(30期生活)

【湖北支部】 芋煮会に大震災被災者を招待

第25期 生活科学学科卒 山口 忠義

10月27日レイ大同窓会湖北支部の有志13人は、余呉町の古民家に東日本大震災から長浜へ避難・移住してきた被災者を招いて芋煮会を開いた。

被災者が湖北地域に避難・移住しながらも交流の機会が少ないことから「たまり場」と銘打った催しを考案。第1弾は長浜・北びわ湖大花火大会に被災者を招待し、弁当を振る舞った。

この日、第2弾として、東北地方で家族や友人、職場などグループの親睦を深める行事として秋の風物詩となっている芋煮会を企画し、被災者14人を招いた。



参加者はサトイモがたっぷり入った熱々の芋煮に舌鼓をうち、ミニ運動会や江州音頭などを楽しんだ。

リーダーの田中孟さんは「参加者から『被災者同士の交流を図れたのが一番嬉しかった』との言葉を頂いて、こちらも元気になる。今後も皆さんの交流を応援したい」と話しておられた。今後も第3弾、第4弾と招待することを計画されておられるとのことでした。



【近江八幡支部】 本部役員4年間を振り返って

第25期 スポレク学科卒 赤尾 美智子

近江八幡支部副支部長を拝命して2期目が終わろうとしています。当所私が良く耳にしたレイ大同窓会は魅力のない会との言葉。私は自分で出来る事はレクリエーションダンスの立ち上げ位等と思い、当初はとまどいながら会場、指導者探しに1人で走り廻り、今丸3年を迎えた「レク・ダンス近江八幡」があります。その間色々な誤解や中傷もありましたが乗り越える事が出来ましたのも、支部長様始め先輩役員様方や会員の皆様。特に協力して下さった他地区の同期生や、一般に募集した地域の方のお力のお蔭でここまで進められたと思います。ありがとうございます。

今は若いリーダーさんに引き受けて戴きスムーズに会を進めてもらっております。近年レイ大に入学する人数が減少しつつあります。やはりレイ大や同窓会に魅力を感じておられないのでしょうか。私達同窓生は活動や内容をうまく伝えねばなりません。

近江八幡支部にも保健体育部、研修部等があります。参加すれば横のつながりも出来、とても楽しい会です。ぜひ会員の皆様も行事は役員だけのものと思わず、参加して下さい。そしてこの同窓会を皆様の手で盛り上げて下さい。最後に、若い会員様にも役員を受けて戴き、より一層楽しいレイ大の同窓会になる事を期待します。

【中部支部】 地域探訪ウォーキング

30期 スポレク卒 竜王町 畑中 芳枝

卒業生有志で、竜王町妹背の里、万葉浪漫紀行を散策ウォーキングをしました。

「あかねさす ^{むらさきのゆ}紫野行き ^{のもり}標野行き 野守
は ^み見ずや ^{きみ}君が袖振る (額田王)

^{むらさき}紫草の ^{いも}にほえる妹を ^{にく}憎くあらば ^{ひとづま}人妻
ゆえに ^こわれ恋ひめやも (大海人皇子)」

額田王と大海人皇子の銅像の前で、一休みしていると、地元の方が親切に説明してくださいました。このお歌は668年5月5日、天智天皇ら一行が、蒲生野へ薬草狩に来られ、2人が酒宴の席で交わされた有名なお

歌で「あなたが人妻の私にそんなに袖を振って、野の番人は見とがめないでしょうか」と額田王に対して、「美しいあなたのことをもし憎かったならば、人妻なのにどうして私が恋しく思うものか」と皇子が大勢の前で詠み返されたそうです。大人同志の親しみと愛の語らいを感じました。かつて心を通わせ合った男女の美しい愛も感じさせてくれ、気のせいか仲間の顔も明るく見え心に残る探訪となりました。



「高島支部」

湖国シリーズ No. 2

「びわ湖と赤伊吹遠望」

第25期 文芸学科 藤原 孝義

この風景画は湖西から湖東方面を観て描いた作品です。雪を冠った伊吹山は晴れると光り輝いて、まるで琵琶湖の上に載せたような絶景です。趣味で水彩画とレイ大で習い始めた俳句を続けていますが、風景画と俳句は着想点が共通しているのでは……と思います。 “裸木や湖に乗せたる遠伊吹”

アンケート特集

組織活性化対策

《回答集計》

——本年度事業の検討課題——

調査の目的：母校では3年前のまさかの「休校問題」に始まり、応募者の減少と同窓会でも会員の退会傾向が見え隠れし、本会の弱体化を防止する対策として全会員による「アンケート意識調査」が平成24年度定期総会で提案され、今回の調査となりました。

組織活性化対策委員会の設立、調査実施項目の検討・調査・結果の集約とフィードバック（情報処理）を行う。

レイ大同窓会1,187名の会員諸兄姉より賜りましたアンケートの結果は、実に膨大な資料でありました。皆様方へのフィードバックを念頭に、関係者による会合を数回重ねながら、ご回答の内容等に就き検討いたしました。不完全ながらもようやく本誌にてご報告する事ができました。

この調査処理は、素人集団による集約の結果でありますので、折角のご提言やご意見も細密な分析などは行い得ないままの発表であることをご容赦願います。

会報発行の予算や紙面の都合などにより、全てを網羅することが出来ず、割愛や無作為抽出など行わざるを得なかった事を大変残念に思っております。

(同窓会長 戸之洞 貞夫)

レイ大同窓会アンケートの集計結果

問 1 あなたの年齢や卒業学科等についてお答えください

卒業期	
1～10期	13
11～20期	200
21～30期	577
31期	85
32期	90
33期	104
計	1,069

卒業学科	
園芸	353
陶芸	100
生活科学	242
文芸	172
地域文化	65
スポ・レク	181
健・レク	55
計	1,168

所属支部	
大津	177
草津・栗東	122
守山・野洲	87
甲賀・湖南	101
近江八幡	159
中部	86
湖東	166
湖北	200
高島	25
支部名不明	62
計	1,185

年 齢	
62～64才	71
65～69才	242
70～74才	323
75～79才	261
80才以上	251
計	1,148

性 別	
男	762
女	361
計	1,123

問 2 あなたの現在の健康状態についてお聞かせください

良い	340
まあ良い	279
普通	364
あまりよくない	163
良くない	26
計	1,172

問 3 あなたは、あなたの周りに友人や仲間を持っていますか

たくさん持っている	772
少し持っている	384
殆ど持っていない	19
計	1,175

問 4 あなたがレイカティア大学に入学されたきっかけは何ですか

友人や仲間に勧められて	266
学校や行政の広報紙を見て	325
家族に勧められたから	81
レイ大のOBに勧められたから	357
その他	139
計	1,168

問 4 で《その他》に記述された主な内容

- (1) 父、母、知人等が卒業生だったから、自分も入学しようと思っていた。
- (2) 友達を増やす事を目的に、レイカディア大学のホームページを調べた。
- (3) レイカディア大学存続の新聞記事をみて。
- (4) 自分のスキルアップ（園芸、陶芸）と、友達づくりに魅力を感じて。
- (5) 地域活性化、仲間づくり、健康づくりなどの支援に役立つ学習をめざして。

問 5 あなたはレイカディア大学同窓会に入会してどのような感想をお持ちですか

期待以上だった	119
期待通りだった	569
期待した程でなかった	375
期待はずれだった	53
計	1,116

前項で「期待以上」「期待通り」に○を付けられた方にお尋ねします（複数回答）

会員同士の親睦が深まった	497
会員がお互いに協力しあった	171
友人や仲間が増えた	473
支部活動が盛んである	133
会員が力を合わせて地域に貢献している	182
健康維持に役立っている	190
その他	31
計	1,677

前項で《その他》に記述された主な内容

- (1) 地域の活動に積極的に参加できるようになった。
- (2) 新しい知識が増えた。
- (3) 外出が多くなり妻が喜ぶ。

問 5 で「期待程でなかった」「期待はずれだった」に○をつけた方の内容（複数回答）

同窓会活動が自分の意とするものと異なっていたから	156
後期高齢者に対する配慮が不十分	58
支部の範囲が広すぎて不効率	118
女性の活躍の場が少ない	31
当局とのコミュニケーション不足	80
世代間交流が不十分	111
支部全体の纏まりが見えない	159
その他	58
計	771

前項で《その他》に記述された主な内容

- (1) 参加出来る活動がない。活動計画の発表が遅い。
- (2) 同窓会の支部活動として、社会貢献活動やボランティア活動がない。
- (3) 同窓会として、卒期、学科の異なるものが一つの目標で協働することはもともと出来ないのではないか。個々の卒業生が地域の活動等で、自分の出来る事に貢献出来たら良いのではないか？
- (4) 会員の希望や意見が活かされていない。役員が特定の人に偏っている。

問 6 現在の同窓会費についてお考えをお尋ねします

同窓会本部会費（年間¥700円）	
妥 当	871
安 い	39
高 い	172
計	1,082

同窓会支部会費（支部により異なる）	
妥 当	864
安 い	40
高 い	110
計	1,014

本部会費 問6で高い と答えた者の意見有り	148
支部会費 問6で高い と答えた者の意見有り	106
計	254

問 6 で《本部会費が高い》と回答された記述内容

- (1) 行事に参加していない人にすれば、機関紙だけの費用分としては高価。
- (2) 半分に、特に夫婦割引、高齢会員（例えば、米寿以上）割引を！
(注、支部会費の中にも同様趣旨の記述有り)
- (3) 高い、安いというより、限られた行事、企画のマンネリ化に会費が活かされているのか疑問？
- (4) 現金2,000円のうち35%を本部へ上納しており、支部だけの各種行事に対する予算化金額は、時代とともに大変厳しい状況の中で、何とかヤリクリしているのが現状です。
会費の値上げをすれば簡単ですが、支部だけにおける各種参加率は25%の現状から、値上げもままならない現状を踏まえ、高いに○印をした次第です。
- (5) 高齢で活動に参加出来ない方の会費で運営している面もあり、妥当かどうか？
- (6) 本部の活動より、支部活動を充実すべきである。
- (7) この設問、きわめて不快。「安い」は何故聞かない？
高いとする金額の根拠は無い。余り必要とは思えぬ会議、行事等はしない。
- (8) 現在の経費削減上、表彰制度は必要が無い。立派な會報は不要。
會報に無駄な費用を使用しており、もっと安くする。
- (9) 300円。年2回の通信費として、催事はすべて参加者負担でよい。

問 6 で《支部会費が高い》と回答された記述内容

- (1) 支部会費は支部独自で考えることである。
- (2) 80歳以上は全体で1,000円以下にしないと、退会者が多くなる。
活動参加少なく、會報のみで良い。
- (3) 支部活動をもっと意義あるものに。活動、事業が活発で有ればよい。
- (4) 会費の高低よりも、支出内容を見直すべき。

問 7 あなたは現在何か地域活動をしておられますか

している	969
してみたい	39
していない	151
計	1,159

前項で《していない》と回答されたものの理由

(1) 健康状態が悪い	96	(4) 家族の介護が必要	7
(2) 高齢のため	19	(5) 何をしてもいいか判らない	7
(3) まだ仕事を続けている	8	(6) 趣味に専念	6

**問 8 問 7で [している] と答えた方にお尋ねします
活動している (複数回答)**

自治会(町内会)の支援活動	485
登下校の見守りなど地域安全活動	248
高齢者、弱者などの地域福祉活動	332
子育て支援や少年健全育成活動	155
防災、防犯支援活動	141
町づくり支援活動	233
国際交流支援活動	34
伝統文化の継承活動	134
趣味のサークル活動	510
文化芸術活動	186
GG等のスポーツ活動	542
農産物、花卉等の栽培活動	228
環境美化活動	289
旅行、ウォーキングなどのレクリエーションなど活動	367
老人クラブ活動	448
その他	123
計	4,455

前項《している》と回答されたうち、（その他）の項にも記述された活動内容

(1) 健康推進活動	6	(5) 災害ボランティア活動	3
(2) 小学校支援活動	5	(6) キャラバンメイト	3
(3) 障害者施設支援活動	5	(7) 社協支援活動	3
(4) 民生委員活動	3	(8) 日本赤十字奉仕団	3

問 7 で [してみたい] と答えた方にお尋ねします
(複数回答)

自治会(町内会)の支援活動	15
登下校の見守りなど地域安全活動	21
高齢者、弱者などの地域福祉活動	27
子育て支援や少年健全育成活動	26
防災、防犯支援活動	29
町づくり支援活動	37
国際交流支援活動	31
伝統文化の継承活動	41
趣味のサークル活動	35
文化芸術活動	25
GG等のスポーツ活動	29
農産物、花卉等の栽培活動	23
環境美化活動	22
旅行、ウォーキングなどのレクリエーションなど活動	46
老人クラブ活動	12
その他	3

前項で、《してみたい》と回答した記述内容

- (1) 陶芸クラブの世話役や、陶芸を通して福祉施設での人の世話、
- (2) 芸能で福祉施設の訪問、
- (3) 少子化対策運動、
- (4) 庭木等の剪定、
- (5) ディサービスの送迎等。

**問 9 あなたは今後同窓会活性化のためどのような施策が必要とお考えですか
(複数回答)**

本部は、情報発信と支部支援	341
役員に若手や女性の登用	284
広域な支部の再編成	117
活動のための予算の増額	73
卒業生の学科単位の活動と同窓会との結びつき	362
一般市民や高齢者に積極的な広報活動	295
自治体や老人クラブその他の地域団体との連携	410
県社協・市町村社協と同窓会との関係強化	335
その他	86
計	2,303

問 9 で《その他》に回答された記述内容

- (1) 近隣支部との交流強化
- (2) 情報を発信。行事案内及び、その結果報告を発信すれば、不参加者も興味をもつのでは？
- (3) 卒業時、各学科とも同窓会を批判する人が多い。そのため入会しない人、退会する人が多い事も一因だと思う。在学時の指導が必要。
- (4) 旧郡、市規模単位の活動が出来ると意識も高まるのではないかと？
- (5) サポート隊との連携
- (6) 支部活動を止めて本部で事業活動。支部はマンネリで参加意欲が持てない。
- (7) 地域別に役員がいるが、これを学科毎、あるいは卒業年度毎の役員にするのも一考。
- (8) もっと遊びを増やして欲しい。ここからコミュニケーションが生まれる。堅い行事ばかりでは不安です。
- (9) 会員相互の親睦を図るための事業を増やす。
- (10) 強制、シバリをつけないでほしい。
- (11) 地域にある限り何らかの組織に係わっており、ことさらに同窓会活動を意識しない形で動いています。
支部での親睦活動が身近なものと思っています。
- (12) 支部役員会の内容が有意義な会とは感じない。もっと、例えば南部又は北部地域だけとか、小さい範囲で顔の見える会合にしてほしい。

**問 10 あなたは地域社会を担う人として同窓会の果たすべき役割は
なんだと思いますか（複数回答）**

安全や福祉活動など地域づくりの担い手になる	412
高齢者の生きがいを見つけ教えてあげる	411
高齢者の心身健康維持、増進を図る	540
スポーツ文化活動等を通じ生涯学習の活性化を図る	542
世代交流を図る	213
高齢者の持つ経験、知恵を伝承する	385
地域社会に対して提案、提言を行う	188
レイ大との連携強化	239
その他	43
計	2,973

問 10 で、《その他》欄で記入された内容

- (1) 全て必要と思うが、会員をその気にさせる必要がある。
- (2) レイ大卒業生と地域高齢者との間に違和感がある。地域に溶け込む要素を創り出すことが肝要。
- (3) 地域と協働して活動する。
- (4) 同窓会会員としての役割より、地域の中での自然な活動が大切。
- (5) 先輩の地域活動の姿を見て、自分自身実践し次の世代に伝承されるよう努力する。
- (6) 学科で習った特技を生かし、地域のボランティアの担い手となる。
- (7) レイ大設立の意義を、地域活動に無理せず実践する。

**問 11 レイカティア大学同窓会の問題やこれからのあるべき姿について、
あなたのお考えや感想を自由にお書きください。**

同窓会活動の活性化の努力目標

- 1. 地域ボランティア活動および魅力的な幅広い事業活動を積極的に行う。**
- 2. 組織のより一層の活性化をはかる。**
- 3. 支部間の交流をより一層活発に行う**
- 4. 学校との連携および交流の強化をはかる。**
- 5. レイカティア大学卒業生としての誇りと自覚を持って行動する。**

この努力目標は、平成17年度常任理事会に於て決定された同窓会活動活性化対策の努力目標で、同年度発行の「会報22号」及び、創立25周年記念事業の特集号として発刊した「会報23号」の巻頭に掲載されました。

* 同窓会に対する問題や今後の理想的な姿について、お考えや感想をお書きください。

・提言あり 635 ・提言なし 552 計 1,187

このテーマについては、多数の方より提言を頂きましたが、紙面の都合により各支部で選択した提言に絞って掲載させて頂きました。ご了承下さい。

1、主に同窓会全般に関する提言

- (1) 同窓会員同志の親睦を深め、健康維持を図りながら後継者をつくり、伝えてゆく事がなにより大切であると考えます。
- (2) 高齢者の一人暮らしが増えています。其れを応援するのが我々だと思っている。様々な団体が支援していますが、本人達は余り喜んでいない様である。レイ大出身者で知識・経験を活かして支援し、国、県からの補助金を引き出すとよい。書くのは簡単ですが、活動は一人では出来ません。その為に勉強会の開催を検討して下さい。
- (3) 今現在やっている定例的な事を全て見直す必要がある。本来、必要な事か？ どうすればもっとよくなるのか？ OB会はどうあるべきか？ 同窓会に入会しない理由を聞いて同窓会の運営に生かすべきである。
- (4) ① 活動を本部中心から、支部中心へ、支部は市町単位のグループ活動に重点を置いて欲しい。市町の行政（社協）とのタイアップした行事を開き、一般市民を混じえて、レイ大の宣伝も兼ねて地域活動をやって欲しい。 ② 私たちの時は卒業生全員が同窓会に入った。入会するのが当然と考えたが…。入学生の選考に問題があるのでは？ 質の高い人を選ぶべきではないか。 ③ 現在の年間会費は他の会費に比べて決して高いとは思わない。若い人の役員登用（女性の登用もう少し多く）。役員をすると長期間されているが、3~4年位役員を経験し、会の理解をしてもらうようにして欲しい。私も会員として努力します。
- (5) 役員諸氏は頑張ってくれているが、内容がマンネリ化して魅力に欠けるものになっているのではないかと。新しいアイディアを取り入れて、参加者が喜ぶものにして欲しい。役員の任期は2回が限度と考えています。どんどん新しい人と交代して活性化を図り、新しい空気を入れて下さい。
- (6) 余り構えて大きな事は考えなくてもよいのでは？ 各地に散らばった会員が時折集まって楽しめればよいのでは？ 卒業生が地域に根差して様々な活動をしている事は現実であり、自分もその中に入っている。そんな中で、バックに同窓会があるということだけで大きな支えになっており、存在そのものが大きな使命を果たしているのだと思う。殊更に新しい事を求めず今のままで良い。
- (7) 他の支部の事は解りませんので私が所属する湖東支部について記述いたします。同窓会役員各位は業務に熱心に取り組んでおられ、会報の発行、作品展、総会並びに講演会、研修親睦旅行、新会員歓迎会、グラウンドゴルフ大会等色々の事業を推進され感謝しております。これらの事業を通じて会員相互の現状確認と、情報交換の機会となり有意義な事業であると思います。役員各位にあっても忙しすぎでは大変であり、現状程度で運営されることがベターであると考えます。

- (8) レイ大同窓会の課題やこれからのあるべき姿は、今の方針・システムで充分です。退会していない会員にアンケート調査するよりも、脱会する会員にアンケート調査を協力して頂いて、その中から課題やあるべき姿を見出したら如何でしょうか。(何故脱会するのか?) レイ大の「在学中」と「同窓会」は勿論繋がっていますが、「在学」あつての「同窓会」という考え方で「同窓会」に入る、入らないは別物と考え“一人でも多くの会員を擁して”に、決してこだわらなくてもよいと思います。「卒業はしたものの同窓会には入らない」というのもその人の考えですし、「同窓会に対する価値観の違い」「ニーズに合致していない」というのも本来はそうであれば、その人が役員となって変えていったらよいことで、言うだけで脱会するのであれば、「去る者は追わず」という事で残った会員で改善すべきものはしたら良いと思いますが…誰が役員をやっても、アンケート調査してもそう変化はないと思います。余り前向きな意見ではないと思いますが、「同窓会」はこんなものだと思っていますし、よりよい「継続は力なり」で、今現在の同窓会でよいと思います
- (9) 何時もいろいろ献身的に活動頂き有難うございます。超高齢化社会が益々進む現代、レイ大同窓会の発展には実際難しい問題が山積している事でしょうが、ボランティア活動にも限度があり、組織として動く為には役員の方ならぬ努力が必要と思われれます。特に若い人々の退会が増える由、古い時代の者と違って個人主義教育(思想)の現れではないでしょうか。私の様な年代(80を過ぎると)になると、自分自身の健康維持に精一杯でボランティアも思うに任せません。社会的活動にも面白さが見いだせる何かを求めたいものです。
- (10) 今年9月に新入会した処であり、正直現状がどうなのか何も判らない実情であるが、在学中に見た會報や各支部の活動状況案内書から、活発に活動をされているのを知り、卒業後も在学中同様に同窓の皆さん(先輩)との交流が続けられる事を多いに期待している。特に、活動として「研修旅行」「文化・生活講座・教室」「地域ボランティア」など社会活動的なものに興味がある。
- (11) 会員の皆様方は何事に対しても一生懸命に取り組みされているが、特に卒期至近の会員が脱会する事に対し、その原因を深く追求すべきである。同窓会活動の情報が末端まで届いていないのでは? 縦割り組織の弊害を打破して横との連携も視野に入れ、組織の再分割が必要な時期となりつつある。
- (12) ① 地域活動、個人的な活動で外部に出る機会も多く、県内各地に同窓生が多く居る事は心強く思う。然しながら、面識も浅く接しがたいのが実情。県内の同窓生南北が集って交流が出来、話し合える(趣味、スポーツ、ボランティア)機会が持てる交流の場も必要と思う。② 各卒業生はレイ大卒の名だけではなく、地域への活動意識や責任感を持てるよう指導も必要とする。
- (13) ① 同窓会の役員に若手登用。 ② 夫婦会員の場合は一人半額の配慮。 ③ 支部で盛り上げれば活発化する。 ④ 在学中に学科長を通して同窓会入会の認識を高める。
- (14) 役員だけの活動になりがち。習得した学科の知識等をもっと發揮して貰える方法を。健康福祉部はグラウンドゴルフのみでなく他の内容を考えては(例えば、ボーリング、卓球、フォークダンス)。陶芸教室、健康食講習など、同窓生が講師や

生徒となり仲間意識を高める。会員が前向きになり出来る限り参加しなければと思う気持ちを発揚する。

- (15) 滋賀県以外の他府県の老人大学との交流を希望(例えば、阪神シニアカレッジ等)。交流を通じて幅広い活動範囲の導入と、開かれた大学になるよう同窓会も頑張るべき。
- (16) 活性化対策を推進するには、多数の意見も大事だが少数でも真に皆のプラスになる事は思い切って実行し、経費の節減にも努めるべきだ。
- (17) 学生時に見知らぬ人達と学んだ2年間を回顧すると宝の様に思え、同窓会の様な共同体に身を置く事は意義深く、何とも言えぬ温かさを感じる会である。
- (18) ① 支部内での行事だけでなく他支部との交流行事も考えてみては? ② 支部内で趣味の同好会も増やす ③ 支部ではレイ大同窓会と他団体の交流を年に数回設ける。
- (19) 本部は情報発信と支部支援のみで良い。本部総会は支部役員の出席で良い。本部のイベントはいらない。功労者表彰の見直しと厳正化。長寿者慶祝は白寿のみで良い。本部役員の構成と人員の改正と縮小。同窓会のバッジ改訂と有料授与。
- (20) ① サポート隊があるが、同窓会の全組織を上げてサポートするのが良い。 ② レイ大の設立理念「地域社会のリーダー養成」を忘れない事。 ③ このことから卒業すれば各市町村社協に登録され、個人のスキル、希望に応じて社会貢献する仕組みを作る。 ④ 長寿表彰(慶祝)を止めて美しく老いる個人集団であるべきで、明るく楽しいロマンの有る活動を目指す。
- (21) 本部全体の活動は活性化しないで、各支部毎の行事、活動を中心に盛り上げて行ければ良いと思います。又、近隣の支部との合同行事も面白いと思う。
- (22) ① 広域にわたっている支部は分割し小さく纏まった支部に再編成する。 ② 支部中心の活動に徹し、本部は各支部の連絡機関とする。
- (23) ① 統一した同窓会活動は無理があり、組織活性化の議論は要らない。 ② 本来卒業生は全て同窓会であり入会登録制ではないのでは? ③ 地域社会貢献や趣味サークルへの参画は自由である。同窓会はこれらの情報を発信すれば良い。 ④ レイ大卒発の小サークルがいくつか出来、各自の居場所、出番があれば同窓会の役割は機能していると考ええる。
- (24) レイ大同窓会本部は、県内社協と連携を取り、同窓生の協力が得られやすい状況を作る事が大切である。地域の社協との関係が希薄に思える。同窓生の地域の為という気持ちが生かされていないように思う。本部役員の一層の努力が必要。
- (25) 活動種々欲張り過ぎ、間口広すぎる。ノルマを感じさせず気軽に参加できるように。
- (26) 卒業して1年目。同窓会の地区の行事に参加しましたが、女性はほとんど参加なし。内容もつまらないもので、以降行事に殆ど参加しておりません。
- (27) 会員が楽しめるサークルをもっと増やす。グラウンドゴルフ、ディスコン以外の健康体操も加える。会員の関心事は健康、軽スポーツ、小旅行、芸術等である。社会貢献活動に加えこれら活動を行うべき。
- (28) 私の支部は役員で活発な活動をしているが、出来ればもっと全ての会員が

活動に活発に参加するよう、例えば、新年会などに工夫が必要ではないか？ また、もっと小さいエリアでの集まりを増やすべき。

- (29) 会報配りで「メリットがないから辞める」。知人の中にも「面白くないから辞める」。「活動行事が余りない」等聞きます。個々人によって違うと思いますが、私は他府県から来たので身近な友人は地区の同窓会の皆さんです。役員会ではくつろげず、新年会でもその雰囲気は出ません。月1回位お茶飲み会を作ってはどうか。そんな中から一緒に活動しようという人が出るかも知れません。
- (30) 同窓会会員同士の交流機会づくり（同窓会の初めは、知らない人の集まりと考えて交流の機会をつくる） ・ 卒業生が集える場所づくり ・ 親睦会、情報交換会、意見交換会、会う機会 ・ いろんな学科卒生との交流 ・ 市町又は町内会単位活動から連携強化 ・ ヨコ（同期）とタテの絆づくり ・ 学科や学区等での活動 ・ 学科毎の卒業生の連携。
- (31) 同窓会への提案等魅力のある催しを行う（現在は参加しても面白いと感じない） ・ 入会金廃止、卒業生全員入会制（入会金少額、事業ごとに参加費徴収制） ・ 本部会費を大幅に下げる（役割の明確化、業務の仕分け） ・ 超高齢者の会費下げ ・ 活動に参加を増やす為には、お誘いが必要 ・ 支部総会は支部地域で開催（注、支部の問題） ・ 学科再編の意見を言うべし(学科が無くなるのは寂しい) ・ 取り組む課題；高齢者福祉問題；卒業生の高齢者福祉；高齢者の健康維持；福利増進活動 ・ 会員の加入率UPの為に支部での勧誘活動を！ ・ 未入会者名簿を作成し再度加入のPR。

2、主に地域活動・ボランティアに関する提言

- (1) 地域活動を担う活動についてですが、レイ大同窓会独自で行うことはかなり無理が生じやすいと思います。地元自治会、行政、団体の諸活動については、必ずレイ大OB名を明らかにした組織、個人が協力、支援するという方法が、次第に地域社会に位置づけされるのではないかと存じます。
- (2) 地域社会を担う人＝私は小学区単位を主にして活動をしている。同窓会の役割となると＝広範囲となり、難しい面が多いのではないのでしょうか。
- (3) レイ大での学習・経験は貴重なものです。それを地域社会の為に生かす事が求められていると思いますが、同窓生が一つに纏まって何処でも活動するという事は中々出来ない事だと思います。理想・目標は掲げても、同窓生が一つの目標に結集する事は難しいことです。米原校の同期で学んだ者は親睦を図ったり出来るかもしれないが、支部内外に散らばっている会員で町内自治会内では、同窓生としての力を発揮するのが難しいと思えます。同窓生として自治会内で自分なりに出来る事に参加して行くようにすることで“よし”としなくてはならないのでは一。
- (4) 先ずは健康であること。培った知識・知恵を次世代に返していくことが必要であり、その為には地域とのかかわりを持つ事が大事と考えます。
- (5) 会員の地域に於ける活動発表会を年数回開催して欲しい。発表会については ①時間は1時間余り、② 中間で茶話会などを入れる ③ 内容は役員で事前審査し、講演会風にならない様構成 ④ 形式的にならないよう工夫し、場合によっては視聴参加者の質問が受けられるように配慮する。

- (6) 同窓会グループを細分化し、地域の「小地域グループ」として日頃の活動を「こまめ」にやれる様にする。大きい目標より、地域に根差した活動をすることにより、小地域から支部へと拡げて行くと良いと思う。
- (7) 卒業生の地域活動の紹介等して頂き、活動の輪を拡げていく事が大切。
- (8) 同窓会組織を見直し、小集団（地域又は学区ごと）により地域に貢献出来る様な施策を見つけ出し実行する。また、地区ごとの集まりによる懇親会やニュースポーツの活動にも取り組む。
- (9) レイ大で学んだ事を、地域で仲間づくりを通して広げたい。今、活動している老人クラブや自治会でPRして参加人数を増やしたい。
- (10) 1年に1回ぐらいは同窓生全員が環境美化に汗を流す。例えば琵琶湖周辺のゴミ拾いを実施。① 一斉日を決定 ② 人が多く集まる箇所を決め支部最寄りの清掃場所を決定 ③ ゴミは各支部（各市町の指定ゴミ袋持参）④ 各人が持ち帰る量の収集 ⑤ 駐車可能な場所を考慮等。
- (11) 定期的なボランティア活動をレイ大OBの名前で実践する。例えば地域の福祉施設の草刈り、剪定。又、小学校などを対象に運動、文化などの活動を合同で行い交流する。活動状況が判るように幟、旗などでレイ大のPRをして入学希望者増を図る。OBが喜ぶ活動でなく、地域を意識した活動が大切であり、地元民との合同も考える。
- (12) 行政と連携した社会貢献活動を行う。
- (13) ① レイ大と同窓会とレイ大サポート隊の3者が連携して地域活動の活性化を図る。② レイ大の学科で学んだ事を地元に戻って地域活動に生かす手法を、同窓会及びレイ大サポート隊が提供する。③ レイ大事務局は市町村社協及び市町村役場の高齢福祉課と情報交換を密にして、卒業生に対して地域活動に関する情報を提供する仕組みを早く作る。
- (14) ① 地域の課題はそれぞれ異なっているので、それは各人の能力、関心に応じて発掘し、自分なりに縁のある仲間（レイ大OB以外も）と共に地域で対応する。② 老人会、自治会、学区社協など組織力の弱体な地域が有り、そこへの積極的な参画が求められている。
- (15) レイ大同窓会は地域活性化の推進役として県、市との連携に努めるべき。その為にも活動情報を地域に向けて発信する。
- (16) 学びをして来た筈なのに何故か個人的な楽しみには参加するが、支部の事業に余り出ないのはおかしい。地域活動でボランティア等に頑張っている人と、そうでない人の差は大きいのではないか？
- (17) 現在、福祉施設でボランティアをしているが後継者不足を感じている。レイ大と連携して後継者増員の促進と、同窓会内での勉強や講座等の開催を図って頂きたい。
- (18) レイ大は、そもそも老人大学からの出発であったと聞いている。従来、老人個々の生涯学習の場であり、社会の発展に伴い地域社会貢献をする人づくりの場になっている。現今卒業生でボランティアに参加する人が少ない。私は「生かされている命」を座右の銘にし、残された人生を社会奉仕にと考えている。レイカディア大学が社会に服務する人づくりの場として、これからも運営されることを望む。支部活

動もしかりで、ボランティア活動の経験、交流の場づくりが必要ではないか？

- (19) レイ大の地域活動への参加を敬遠する人とそうでない人に二極化されている。税金投入の事業だから、卒業後は社会貢献すべきである。
- (20) 同窓会として地域活動の組織を作り活動する (次項と共通する内容がある)
 - ・ 地域活動情報の収集、提供
 - ・ 研修の実施 (レベルアップ)
 - ・ レイ大で学んだ事を生かす
 - ・ 卒業後5年間活動制の導入 (全員参加型の活動)
 - ・ 支部単位の活動の他、県単位で活動 (学科別組織等)
 - ・ 会として地域を担う架け橋になる
 - ・ 社会福祉協議会と連携し情報交換の場をつくる。
- (21) 個人またはグループとしての地域活動をする
 - ・ 地域社会との連携
 - ・ 地域活動グループとの交流
 - ・ 卒業生の地域活動の輪を広げる (活動団体の紹介、交流)
 - ・ 社会貢献活動の情報提供
 - ・ 趣味グループを地域で生かす
 - ・ 地域の人々と仲良く付き合う事が大切
 - ・ 卒業生の人材バンクづくりと活用。

3、主に情報発信に関する提言

- (1) 同窓会は年齢、人生観、価値観、趣味が異なり、全員が特定の事業に結集不可能。地域の様々なグループの情報交換、日程調整として同窓会を活用すればよい。
- (2) 支部活動に於いて卒業学科毎の特技を生かした活動状況が不明。どのような活動がなされているか情報発信不足。
- (3) 他の支部がどのような活動をしているか不明です。情報を聴取し「取り入れれば良い」というものが無いか検討してはどうでしょうか？ 小、中、高、大の同窓会に比べると十分な活動がなされていると思います。
- (4) 近年ボランティア活動に重点をおいている様に感じます。同窓会は本来タテ (先輩、後輩) とヨコ (他学科及び草津校・米原校) 間の親睦と情報の交換の場として、結果的にボランティア活動の情報が増えれば幸いとした方が良くと思う。
- (5) 外に対しての情報発信、交流が乏しい。活発を要するのではないか。
- (6) 各支部の活動内容を本部より情報として知りたい。本部会費上げしても良い。
- (7) その地域の役員によっては、末端まで連絡が届かない場合がある。同窓会としてやる事は皆で盛り上げるべく、リーダーとして頑張ってもらいたい。役員だけの総会になって仕舞いがち。
- (8) 高島支部は草津校と米原校に二分されており、在学中から両校間の交流が有れば同窓会運営がスムーズに図られる様に思う。入学時より先輩の存在を知る事も大事である。
- (9) 会報は毎年発行することに意義があるのか疑問が生じる (記事などがマンネリ化している)。
- (10) 情報発信力のアップ (年4回位、他支部の活動、卒業学科毎の活動を本部 → 同窓会員へ) (レイ大卒生の活動を半部、支部 → 県市行政、地域一般住民へ)
- (11) 通知文書はポスティングでなく、ハンドメールで面談の機会を作るのが良い。中途退会防止の観点からも会員との会話の機会を増やして欲しい。
- (12) 80歳以上の健康長寿者の体験・経験談を聞かせて頂き、又は面談して記事として会報にシリーズで掲載して欲しい。必ず記載して欲しい内容 (毎号に男・女交互に又はセットで) 70歳からの一日の生活内容、三食のメニュー、健康法。 ・お

金を掛けずに楽しく学び、遊べる方法について実例を紹介して欲しい。 ・以上の内容をレイ大のホームページに掲載し、広くレイ大の活動を一般の方や各種団体などにPRしていく。

- (13) IT機材に弱い高齢者にPC/iPADの取り扱い普及教育。
- (14) 同窓会本部は年一回の機関紙発行のみで日常的な活動が見えない。刊行物はもっと簡素に。

4、主に入学・入会・講座に関する提言

- (1) レイ大の公開講座年5~6回開催希望。その時、在校生と情報交換、提案等を行う。可能なら有志で実行計画、実践に結びつける。
- (2) レイ大を卒業したら、同窓会に入会することを規則化する事が必要。
- (3) レイ大への入学をお勧めしても、「お金がかかるそうやなー」という事で、余りお勧めしても気が乗らない現実を見る時、県としてももう少し以前の様な身軽に入学出来る予算が見直しされないものかと思えます。地域では、レイ大生の物の考え方、又、その活動ぶりは素晴らしいものが見られます。そういった高齢者を培い養われる最高の場が、今後盛んになるためにも県の予算を多くされることを切望します。
- (4) レイ大を卒業したら全員同窓会に入るものだと思っていた私たちにとって、卒業と同時に入会する人ばかりではないと言う事は意外です。高齢を理由に退会される人もいますが、体力の続く限りは人との交わりを大切にしたいと思っています。
- (5) レイ大で学ぶ楽しさ、意義を伝えて一人でも多く入学して欲しい。入学を勧めて同窓会に加入して頂き共に活動、行動して行きたい。一期一会の機会の場を広めたい。
- (6) 卒業生は全員入会を働きかける。卒業時に強制的に会費を徴収する。その後の退会は任意とする。卒業学科の結びつきが大切。入会は、最初から任意ではいけない。学科単位の活動ありきだ。学科を変えて再入学も認めるべき。学費が上がれば定員割れが生じる。
- (7) 同窓会には、全員が入れるように望みます。組織内の問題点とは何か？ 入会されない理由とは何か？ 価値観の違いや時代のニーズに応える為に、組織活性化委員会で大いに揉んでもらいたい。行事を多くすると全体の参加率も上がると思います。
- (8) 同窓会については、卒業近くに入会案内を受け、すべて入会するものと思っていたが、今回のアンケート調査で実情を知り驚いた。入会を多くする為には在学中から同窓会活動の内容を知る機会を多くして、入会の意識を高める事が望ましい。
- (9) 同窓会という限りは、親睦組織なのでしょう。運営費は不要。開催の都度会費の徴収でよろしい。同窓の友が同窓会の会員でない現象を起こしてよいのですか？
卒業生なら誰でも参加出来る組織に。一方地域社会への貢献活動部門を起ち上げ、支部主体の活動で市社協へ登録。活動費は卒業生全員に一定金額(5,000~10,000円)を徴収。運営費はその一部で賄う。各種助成金を活用して活動の輪を拡げ、同窓会の存在価値を広く認識してもらおう。

5、主にレイ大・同窓会のPRに関する提言

- (1) 今までの実績を、色々のPRを通じて広報し、入学希望者の増加を図ってゆく事が
- (2) 先ずは、滋賀県(県社協)に、レイカディア大学並びに同窓会の在り方の認識を深

めてもらう働きかけと、卒業生の活躍・活動等を十分に伝えていくこと。財政難でカットされてよい事業でないことをトップに伝えること。

- (3) レイ大の応募者が年々少なくなっているのを知り、大変さみしく思っております。その原因として授業料が高くなったとか、学科が縮小されたとか有りますが、我々がレイ大の良さや同窓会（特にクラスでの繋がり、絆を大切に交流している）の活動・実績を地域にPRすべきであると考えます。
- レイ大の存在を知らない人が多いのが現状です。同窓会員、役員が自ら動いて地域社会に積極的に広報活動を展開すべきであると思います。その為には組織的に各地の老人会、自治会、社協等に入学募集の6ヶ月位前より役員一丸となってPR活動を行い、先ず学生を増加させることが先決です。それによって同窓会員も増え、活発になってくると思います。
- (4) 同窓会員は、自分が経験して来た事をもっとアピールして、次の人に沢山入って頂き、学習をして頂きたいと思う。
- (5) レイ大卒業後の活動を、もっと幅広く市民にPRすれば入学者も増えると思う。同窓会は小地域の充実を図れば支部活動も充実する。
- (6) 日頃から同窓会（卒業生）の活躍ぶりをPR。親睦のプログラムも必要だが、全ての卒業生はレイ大の意義、成果をPR。
- (7) レイカディア大学、及び同窓会の活動が県民に広く知れ渡っていないので、PRや広報を通して知名度を高める必要がある。
- (8) 内向きの活動より外部にアピールする活動に取り組む。また、レイ大のPRも学校案内だけではなく、入学して良かった点をアピールしながら一体化した活動に取り組む。
- (9) レイ大の発展のために ・知名度UP（レイ大の存在が広く知られていない）の為の広報の強化、会員の地域貢献活動を市民にPR、出身の会社等にPR、外部への提案やボランティア活動の拡大、・レイ大との連携 ・レイ大サポート隊との連携 ・入学募集に積極的対応(卒業生が知人、友人にPR等組織的に対応) ・通学の便の改善 ・同窓会として学校支援、必修講座の講師を紹介 ・滋賀県の予算削減防止のため、活動状況をPRし、認識を！

編 集 後 記

レイ大生 生きる意欲を培かえり 介護に頼らぬ 人生希いて 新旭 豊文

梅の蕾が開花する頃となり、同窓会の皆様には愈々ご壮健にてお越しのことと存じ上げます。平素は同窓会に対しまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。先ず初めに、会員各位に会報発行が遅延致しましたことをお詫び申し上げます。

さて、一昨年は同窓会創立30周年記念事業も恙なく進行することができ、先達の識見とご尽力により築き上げて頂いた歴史の重さを胸にとどめ、新しい風に希望を感じながら栄光に輝く未来に向かって歩み出しました。

本誌の発刊に当り、同窓会の価値感や発展するための条件等、今一度その意義を問いただして同窓の縁と絆を強め合い、魅力ある同窓会づくりを目指す指針に資する為、組織活性化対策の一環として、全会員による意識調査の実施を遂行するに当り、本年度7月から「組織活性化対策委員会」を設立し、全会員を対象にアンケート調査に取り組みました。

皆様方からご回答頂きましたアンケートを、11月から集約作業に入り、本誌に載せるために、関係者による会合を数回重ねながら、ご回答などについて検討させて頂きました。不完全ながらも漸く本誌にてご報告できるようになりました。

尚、レイカディア大学への応募者は、平成22年度より2年連続で減少し、非常に厳しい状況で存続に関わる問題として「レイカディア大学見直し検討会」がもたれ今後の具体策など、大所高所よりの提言を検討願ひ、八方に手を尽して頂き7月の募集期にはレイカディア振興局の関係者始め、同窓会やサポート隊の懸命のPR作戦のお蔭で、平成24年度はほぼ定員に近い生徒数が確保でき、感謝しております。

昨年12月に衆議員選挙があり、日本丸の船長も交代した事で徐々に景気も戻って来ると思われますが、我々も立場立場で努力すれば、わが母校レイカディア大学にも、地域社会にも明るい日を迎える事ができると信じます。我が母校発展のため、同窓会員皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

同窓会員皆様のご多幸ご健勝を心よりご祈念申し上げ、広報部一同貴重な寄稿を頂きました御礼のご挨拶と致します。有難うございました。 (富 田)

『會 報』 第29号 編集委員

広報部長	富田 豊 (高島支部)	
広報主管	小林 仁司 (守山・野洲支部)	
広報副部長	圓城 忠 (湖東支部)	
広報部員	佐瀬 章男 (大津支部)	木村 榮子 (甲賀・湖南支部)
	山口 忠義 (湖北支部)	西村 満子 (草津・栗東支部)
	畑中 芳枝 (中部支部)	加藤 英明 (守山・野洲支部)
	赤尾 美智子 (近江八幡支部)	

**滋賀県レイカディア大学同窓会
『會報』29号**

発行：平成25年3月1日
編集：滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局
(滋賀県レイカディア大学本部)
〒525-0072 草津市笠山七丁目8-138
TEL. 077-567-3939

印刷・製本：株式会社 都写真製版所
京都市円町上合4 Tel.075-802-1331
製版：K-プリント (代) 木下 光夫
滋賀県高島市今津町弘川1308-36

